

Oracle.1z0-134.v2026-08-10.q107

試験コード :	1z0-134
試験名称 :	Oracle WebLogic Server 12c: Advanced Administrator II
認証ベンダー :	Oracle
無料問題の数 :	107
バージョン :	v2026-08-10
ページの閲覧量 :	104
問題集の閲覧量 :	1113

<https://www.jpnsiken.com/shiken/Oracle.1z0-134.v2026-08-10.q107.html>

質問: 1

応答時間リクエストクラスが1秒のWebLogic Server (WLS) ワークマネージャを作成したいとします。まず、以下のWLSTスクリプトを作成します。

```
connect('weblogic', 'weblogic1', 't3://localhost:7010')
edit()
startEdit()
cd('edit:/SelfTuning/wls_domain/WorkManagers')
create('MyWorkManager')
cd('MyWorkManager')
cmo.addTarget(getMBean('/Servers/ManagedServer'))
cd('edit:/SelfTuning/wls_domain/ResponseTimeRequestClasses')
create('MyResponseTime')
cd('MyResponseTime')
cmo.setGoalMs(1000)
### Missing Sequence Here ###
save()
activate()
disconnect()
```

この脚本を完成させるために、欠落しているシーケンスを置き換えることができるのは、次のうちどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. managedServer=getMBean('/Servers/ManagedServer')cmo.addTarget(managedServer)cmo.setWorkManaq
- B. managedServer=getMBean('/Servers/ManagedServer')cmo.addTarget(managedServer)cd('edit:/SelfTuning
- C. cd('edit:/Servers/ManagedServer')cmo.addTarget(getMBean('/SelfTuning/wls_domain/ResponseTimeRequ
- (getMBean('/SelfTuning/wls_domain/WorkManagers/MyWorkManager'))
- D. cmo.addTarqet('/Servers/ManagedServer')cd('/SelfTuning/wls_domain/WorkManagers/MyWorkManager'
- E. cmo.addTarget(getMBean('/Servers/ManagedServer'))cd('edit:/SelfTuning/wls_domain/WorkManagers/M

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 2

あなたは、既存のドメイン用の拡張テンプレートを作成する任務を負っています。
拡張機能の作成プロセス中に提示される3つのオプションは何ですか？ 3つ選択してください。)

- A. ドメインをソースとして使用する
- B. テンプレートをソースとして使用する
- C. スクリプトとファイル
- D. SQLスクリプトファイル
- E. 会社名
- F. 改訂番号
- G. 作成日

H. オペレーティングシステムの要件

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

AB: [テンプレート構成ソースの選択] ウィンドウでは、拡張テンプレートを作成するアプリケーションテンプレートまたはドメインディレクトリを選択するように求められます。

D: [SQLスクリプトのインポート]ウィンドウでは、このテンプレートから作成されたドメインで使用する予定の各データベースに対してSQLスクリプトを追加するように求められます。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E13196_01/platform/docs81/configwiz/appbuild.html

質問: 3

全サーバー移行におけるクラスタマスターの役割について、正しい記述を2つ選択してください。

- A. ある時点において、クラスタ内には正確に 1つのクラスタマスターが存在します。
- B. クラスタマスターは、クラスタ内のすべてのピン留めされたサービスをホストする必要があります。
- C. クラスタ内のどの管理対象サーバーでもクラスタマスターとして機能できます。
- D. クラスタマスターは常にシングルトンマスターとは異なる必要があります。
- E. クラスタマスターは常にノードマネージャと共に起動する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

移行可能なサーバーを含むクラスタ内の1つのサーバーインスタンスがクラスタマスターとして機能し、障害発生時に自動的なサーバー移行プロセスを統括します。

クラスタ内のどの管理対象サーバーも、固定サービスをホストしているかどうかに関わらず、クラスタマスターとして機能することができます。

注 :クラスタ内のどのサーバーインスタンスもクラスタマスターとして機能できます。移行可能なサーバーを含むクラスタを起動すると、最初にクラスタに参加したサーバーがクラスタマスターとなり、クラスタマネージャサービスが起動します。クラスタに少なくとも1つの移行可能なサーバーが含まれていない場合、クラスタマスターは不要となり、クラスタマスターサービスは起動しません。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E12839_01/web.11111/e13709/migration.htm#CLUST285

質問: 4

管理サーバーはWebLogicドメインの主要コンポーネントです。ドメイン内のメイン管理サーバーがクラッシュした場合に備えて、スタンバイ管理サーバーを用意する必要があります。

この作業を行う上で、どのユーティリティが役立ちますか？（最適なものを選んでください。）

- A. エンタープライズマネージャー
- B. 設定ウィザード
- C. 梱包／開梱
- D. ドメインテンプレートビルダー

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 5

動的スケーリングのメリットを享受するために、JMSサーバーを動的クラスタにターゲット設定することを検討されています。ただし、それに伴ういくつかの制限事項に留意するようアドバイスを受けています。

クラスタ化されたJMSサービスにおける、有効な制限事項と考慮事項を2つ挙げてください。（2つ選択してください。）

- A. ストアアンドフォワードエージェントは、クラスタ（動的または混合）をターゲットにすることはできません。

- B. オフラインモードの WLST は、JMS サーバーを動的クラスタにターゲットするための get コマンドと set コマンドをサポートしていません。
- C. サブ展開はダスターをターゲットにすることはできません。
- D. 動的クラスタへのメッセージングブリッジのターゲット設定はサポートされていません。

正解: ([正解を表示します](#))

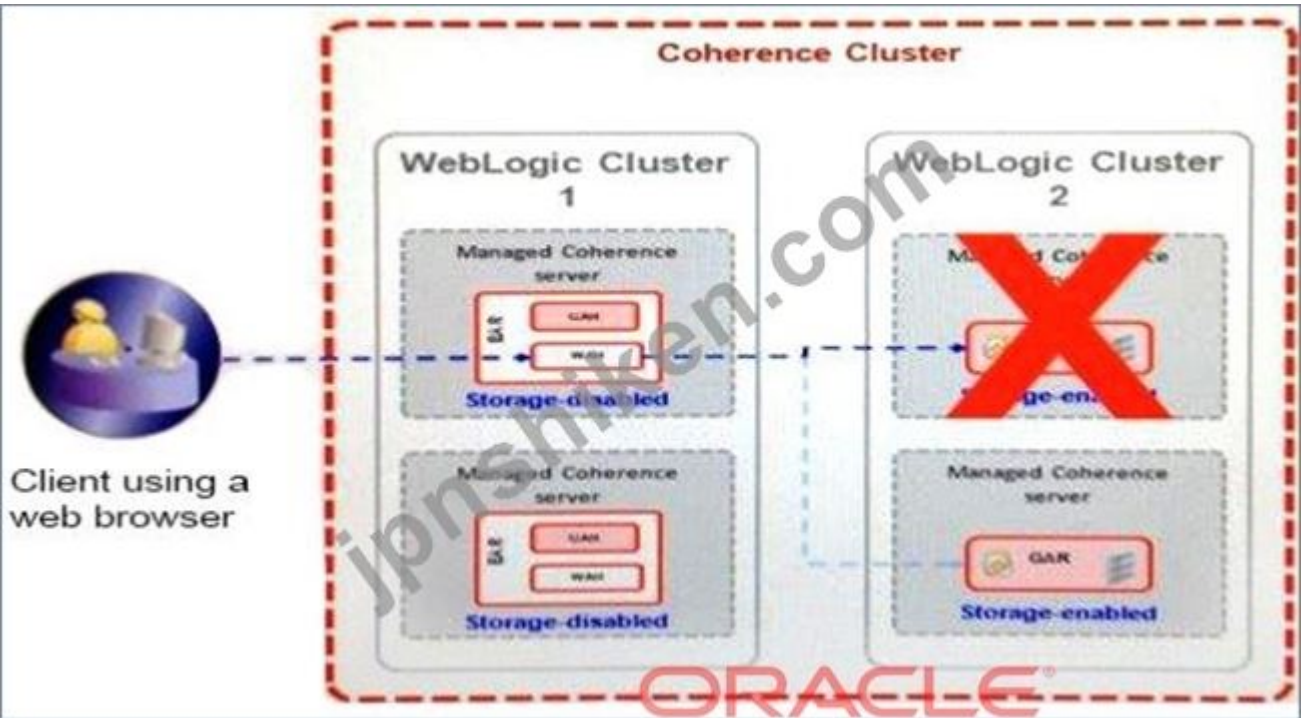
A: ストアアンドフォワード (SAF) エージェントは、動的クラスターまたは混合クラスターをターゲットにすることはできません。SAF エージェントは、デフォルトストアを使用して構成済みクラスターをターゲットにすることができます。

D: メッセージングブリッジを混合クラスターまたは動的クラスターにターゲット設定することはサポートされていません。

参考文献 :

質問: 6

以下の図を確認してください。この図は、以下の内容を示しています。



HTTP セッション属性に対する次の要求が、ニアキャッシュに保存されていない新しい属性であると仮定すると、クライアントのセッション属性は、クラスター 2 内の残りのストレージ対応サーバーから取得されます。

なぜセッション属性は他のサーバーのキャッシュから取得されるのですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. Coherence*Webはセッションをバックエンドの分散キャッシュに保存し、パーティションの再バランスが行われた後、リクエストは新しい場所にフェイルオーバーします。
- B. Coherence*Webはセッションをバックエンドの複製キャッシュに保存し、リクエストは自動的に新しい場所にフェイルオーバーします。
- C. Coherence*Webはセッションをバックエンドの共有ディスクキャッシュに保存し、リクエストの負荷分散を自動的行います。
- D. Coherence*Webは、データベースキャッシュローダーによってバックアップされたキャッシュにセッションを保存します。

データはデータベースから取得され、新しいサーバー上のキャッシュに格納されます。

正解: ([正解を表示します](#))

参考文献 :

質問: 7

JMSメッセージが期限切れにならないようにする必要があります。

JMSExpirationヘッダーにはどのような値を設定すべきですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. 0
- B. 999
- C. 1000
- D. 1

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

説明

WebLogic JMS は、JMSExpiration の値を、アプリケーションの有効期限と現在の GMT の合計として計算します。アプリケーションが有効期限を 0 に指定している場合、JMSExpiration は 0 に設定され、メッセージの有効期限は切れません。

質問: 8

グループと役割の2つの違いは何ですか？ 2つ選択してください。)

- A. グループは静的であり、役割は動的かつ条件付きです。
- B. 役割はアプリケーションごとにスコープ設定できますが、グループはグローバルのみです。
- C. 役割は静的であり、グループは動的かつ条件付きです。
- D. グループはアプリケーションにスコープを設定できますが、ロールはグローバルのみです。
- E. グループは役割を含むことができますが、役割はグループを含むことができません。

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

説明

セキュリティロールとは、特定の条件に基づいてユーザーまたはグループに付与される権限です。グループと同様に、セキュリティロールを使用すると、複数のユーザーに対して一度にWebLogicリソースへのアクセスを制限できます。セキュリティロールとグループの違いは以下のとおりです。

- * セキュリティロールは、ユーザー名、グループメンバーシップ、時間帯などの条件に基づいて、ユーザーまたはグループに動的に計算され、付与されます。グループは静的です。
- * セキュリティロールは、WebLogic Serverドメイン内の単一アプリケーション内の特定のWebLogicリソースにスコープを設定できます グループとは異なり、グループは常にWebLogic Serverドメイン全体にスコープされます)。

質問: 9

ノードマネージャの潜在的なクライアントと考えられるオブジェクトはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. 管理サーバー
- B. WLSTセッション
- C. HTTPサーバー
- D. その他のノードマネージャ
- E. リモートJMSクライアント
- F. weblogic.Deployerutility

正解: ([正解を表示します](#))

Node Managerクライアントは、通信先のNode Managerに対してローカルまたはリモートのどちらでも構いません。Node Managerには、Java版とスクリプトベース (\$SH) 版のどちらでも、以下のクライアントからアクセスできます。

A: 管理サーバー

B: WLST コマンドとスクリプト - WLST オフラインは、実行中の管理サーバーがない場合でも実行できるノードマネージャのコマンドラインインターフェイスとして機能します。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E28280_01/web.11111/e13740/overview.htm#NODEM119

質問: 10

現在稼働中のWebLogic Server (WLS) ドメインを、ユーザーに影響を与えることなくアップグレードする必要があります。

ローリングアップデートを行うための5つの手順は何ですか？ 5つ選択してください。）

- A. ドメインのコンテンツをバックアップしてください。
- B. パックとアンパックを使用して、マシン内の各サーバーをアップグレードします。
- C. 1台のマシンでサーバーをシャットダウンします。
- D. ドメイン内のすべてのマシンに対してこのプロセスを繰り返します。
- E. マシン内のサーバーを再起動します。
- F. マシン内のすべてのドメインに対してこのプロセスを繰り返します。
- G. マシン内のサーバーをアップグレードします。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

A: アップグレードプロセスを開始する前に、次のような必要な予防措置を講じてください。

* アプリケーション、データベーススキーマ、その他のアプリケーションデータ、およびドメインをバックアップしてください。

必要に応じて、必要な非Oracleコンポーネントと互換性のある最新のサードパーティ製プラグインまたはコンポーネントを入手してください。たとえば、Apache Webサーバーライブラリなどです。

CGED: ローリングアップグレードプロセスには、管理サーバーの停止、アップグレードのインストール、管理サーバーの再起動、そしてクラスタ内の各管理対象サーバー (マシン) に対する同様の操作が含まれます。

参考資料 http://docs.oracle.com/cd/E14571_01/web.11111/e13754/rolling_upgrade.htm#WLUPG268

質問: 11

アプリケーションには、JMSキュー上のメッセージをリスンするメッセージ駆動型Bean (MDB) が含まれています。MDBによってすべてのメッセージが正確に一度だけ処理されるようにする必要があります。

この要件を満たすには、どの構成を選択すればよいですか？ (最適な選択肢を選んでください。)

- A. MDB の onMessage メソッドに例外ハンドラを追加します。
- B. キューの再配達制限をゼロに設定します。
- C. コンテナ管理トランザクションを使用することで、メッセージが未確認の場合に再配信されるようにします。
- D. デプロイメント記述子でMDBインスタンス数を1に設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs90/ejb/message_beans.html

質問: 12

バックエンドデータベースのレプリケーション機能や高可用性機能などを活用するために、トランザクションログを永続化するためのJDBC TLOGストアを構成します。

TLOGの設定中に何らかの問題が発生したため、TLOGの設定に関する考慮事項を確認しています。

JDBC TLOGストアの設定に関するガイドラインとして正しいものはどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. WebLogic Server ごとに構成できる JDBC TLOG ストアは 1 つのみです。
- B. JDBC TLOG ストアは RAC データベース用にのみ構成する必要があります。
- C. JDBC TLOG ストアのターゲットにできるのは、グローバル スコープのデータ ソース (アプリケーション スコープではない) のみです。
- D. 複数のWebLogicサーバーが同じJDBC TLOGストアを共有できます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

A: WebLogic Serverごとに構成できるJDBC TLOGストアは1つだけです。逆に、複数のWebLogic ServerでJDBC TLOGストアを共有することはできません。

C: JDBC TLOG ストアのターゲットにできるのは、グローバル スコープのデータ ソース (アプリケーション スコープではない) のみです。

質問: 13

基盤となるデータベースのレプリケーション機能と高可用性機能を活用するために、トランザクションログをデータベースに永続化するためのJDBC TLOGを設定しました。

しかし、WebLogic Serverは起動時にデータベースに正常に接続できません。

どのような結果が予想されるでしょうか？（最適な答えを選んでください。）

A. WebLogic Serverインスタンスは、ストアのデータソースをターゲットにせずに起動します。

B. WebLogic Serverインスタンスは、ストア用のサービスなしで起動します。

C. WebLogic Serverインスタンスは、ストアのデータソースを作成せずに起動します。

D. WebLogic Serverインスタンスの起動に失敗します。

正解: D ([コメントを発表する](#))

説明

説明/参考資料: <https://docs.oracle.com/en/middleware/fusion-middleware/weblogic-server/12.2.1.4/store/jdbc.html#GUID-39B42AC6-3D93-451C-9888-3CE99B88E1CE>

質問: 14

お客様のドメインで断続的な問題が発生しており、お客様ご自身では解決できない状況です。問題解決のため、Oracleサポートにケースを起票されました。サポートエンジニアは、WebLogic診断フレームワーク (WLDF) を使用してWebLogic Server環境の全体像を把握し、問題の原因を特定のサブシステムに絞り込むことを検討しています。

サポートエンジニアはあなたにどのようなWLDFデータを要求しますか？（最適な回答を選択してください。）

A. 診断画像スナップショット

B. JVMのJavaフライトレコーディング

C. 計測ログ

D. 収集された特定の指標

正解: ([正解を表示します](#))

説明

診断イメージキャプチャは、問題診断に使用される主要なサーバー状態の最も一般的なソースを収集します。そして、その状態を診断イメージという単一の成果物にパッケージ化します。

質問: 15

WLSTのcreateコマンドに関して、正しい記述を3つ選びなさい。（3つ選択してください。）

A. WLSTオンライン環境でcreatecommandを使用する場合、接続先は管理サーバーである必要があります。

B. 作成される MBean のタイプは、現在の管理オブジェクトの子タイプである必要があります。

C. createステートメントの必須パラメータの正しい順序は、名前の後にchildMBeanTypeが続きます。

D. createコマンドは、構成またはランタイム管理ビーンを作成するために使用されます。

E. createcommand は WLSTProgress オブジェクトを返します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

A: WLSTオンラインでcreateコマンドを使用する場合は、管理サーバーに接続している必要があります。

B: 子型は、親型のインスタンスの下に作成する必要があります。

C: 構文: create(name, childMBeanType, [baseProviderType])

Createコマンドは、現在のBeanに対して、指定されたタイプの構成Beanを作成します。

誤った回答:

D: createコマンドは、新しく作成された構成Beanのスタブを返します。ランタイム管理Beanを作成することはできません。

E: create コマンドは、新しく作成された構成 Bean のスタブを返します。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs92/config_scripting/reference.html#wp1081543

質問: 16

WebLogic Serverドメインの双方向SSLを構成しています。セキュリティ専門家として、クライアント証明書が正規のものであっても、有効な証明書が侵害される可能性は常にあることを認識しています。

WebLogic Serverが受信した証明書が侵害されていないかどうかを確認するために設定できるオプションはどれですか？ 2つ選択してください。）

A. 認証取り消しリスト

B. 証明書失効ステータスプロトコル

C. オンライン失効状況プロトコル

D. オンライン証明書ステータスプロトコル

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料 :<https://docs.oracle.com/middleware/111119/wls/SECMG/ssl.htm>

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 17

本番環境のWebLogic Serverインスタンスに対してSSLを設定する必要があります。myKeyStore.jksキーストア内に自己署名証明書は既に作成済みです。次に、信頼できる認証局から新しいデジタル証明書を取得する必要があります。

プロセスを開始するには、どのコマンドを使用しますか？（最適な回答を選択してください。）

A. keytool -gencert -alias myCertName -infile myCertName.csr -outfile myCertName.der

B. keytool -certreq -alias myCertName -file myCertName.csr -keystore myKeyStore.jks

C. keytool -printcertreq -alias myCertName -file myCertName.csr -keystore myKeyStore.jks

D. keytool -genkeypair -alias myCertName -dname "CN=MyCert" -keystore myKeyStore.jks

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 18

WebLogic Server (WLS) の実行スレッドを監視するスクリプトを作成しました。

```
#!/bin/bash ORACLE
jstack $1 > stack.txt
rm ExecuteThread.log

while read line
do
    echo $line | grep "\\.* ExecuteThread:" >> ExecuteThread.log
done < stack.txt
rm stack.txt
```

ExecuteThread.log ファイルに以下のメッセージが記録されています。

```
"[xxxx] ExecuteThread: '0' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' " daemon
prio=10 tid=0x00007fa4404bf000 nid=0xde5 waiting on condition [0x00007fa4583c7000]
```

デフォルト設定を前提として、スレッドが20分間リクエストを実行した場合、xxxxの値は何ですか？

スラントビー

- A. アクティブ
- B. 行き詰まる
- C. ランニング
- D. 待機中
- E. 管理者
- F. 失敗

正解: [\(正解を表示します\)](#)

このスレッドは、MaxStuckThreadTime (デフォルトでは600秒) で定義された時間を超えて実行されているため、WebLogicによってスタック状態とみなされます。WebLogic Serverは、この時間が経過してもスレッドがまだ動作している場合、スレッドをスタック状態としてマークする前に、この時間に達するまで待機します。

例 [STUCK] ExecuteThread: '2' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' id=73 idx=0x128 nid=13410 prio=1 alive, in native, daemon 参考：

https://blogs.oracle.com/WebLogicServer/entry/analyzing_a_stuck_weblogic_execute

質問: 19

あなたは、ドメイン内の各サーバーにデフォルトの組み込み診断モジュールが構成されているWebLogicドメインを管理しています。

あなたには以下の要件があります。

この結果を達成するために適用できる2つのアプローチは何ですか？ (2つ選択してください。)

- A. 組み込みモジュールを複製し、そこにメトリクスを追加し、既存のモジュールを非アクティブ化し、新しいモジュールをアクティブ化します。
- B. 組み込みモジュールはそのままにして、新しいモジュールを作成し、そこにメトリクスを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。
- C. 組み込みモジュールはそのままにして、外部リソース記述子モジュールを作成し、そこにメトリクスを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。
- D. 組み込みモジュールを削除し、外部リソース記述子モジュールを作成して、組み込みメトリックと新しいメトリックを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

特定のドメイン内で、異なる構成を持つ複数の診断システムモジュールを作成できます。

複数の診断システムモジュールを、任意のサーバーまたはクラスターに適用できます。

注 :サーバーレベルで計測、ハーベスター、監視および通知コンポーネントを設定して使用するには、まず診断システムモジュールと呼ばれるシステムリソースを作成する必要があります。このモジュールには、これらのコンポーネントすべての設定が含まれます。診断システムモジュールの設定は、リソース記述子で定義されます。リソース記述子は、構成済みでも外部でも構いません。

参考文献 :

質問: 20

拡張テンプレートには、どのような種類の情報を含めることができますか？ 3つ選択してください。)

- A. JMS
- B. JDBC
- C. サンプルアプリケーション
- D. サーバー
- E. クラスター
- F. 機械
- G. 管理者ユーザー名とパスワード

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料 :

必要に応じて、拡張テンプレートでJavaメッセージサービス (JMS)のパラメータを定義できます。
必要に応じて、拡張機能テンプレートでJavaデータベース接続 (JDBC)の設定をカスタマイズできます。
必要に応じて、拡張機能テンプレートに含めるアプリケーションのリストを確認および変更できます。
参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13196_01/platform/docs81/configwiz/appbuild.html

質問: 21

受信側で、特定のメッセージに対してJMSRedeliveredヘッダーが設定されていることを確認しました。
この現象は、どの2つのシナリオで発生すると予想されますか？ 2つ選択してください。)

- A. アプリケーションは既にメッセージを受信していますが、確認応答をしていません。
- B. セッションの recover() メソッドが呼び出され、最後に確認されたメッセージの後からセッションが再開されました。
- C. 送信者はメッセージに対してredeliver()メソッドを呼び出します。
- D. メッセージを送信した後、送信アプリケーションがクラッシュします。

正解: ([正解を表示します](#))

A: JMSRedelivered プロパティは、確認応答が受信されなかったためにメッセージが再配信された場合に設定されるフラグを指定します。このフラグは、受信側のアプリケーションにとって重要な情報です。

このフラグが設定されている場合、JMS が以前にメッセージを配信した可能性があることを示します。その理由は、次のいずれかが当てはまるためです。

- * アプリケーションは既にメッセージを受信していますが、受信確認を行っていません。
- * セッションの recover() メソッドが呼び出され、最後に確認されたメッセージの後からセッションが再開されました。

参考文献 :

質問: 22

Webモジュールには特定の調整が必要です。開発チームは、デプロイメント記述子 (weblogic.xml) でモジュールを次のように微調整します。

```
<weblogic xmlns="http://xmlns.oracle.com/weblogic"
  xmlns:j2ee="http://java.sun.com/xml/ns/j2ee"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://xmlns.oracle.com/weblogic
http://xmlns.oracle.com/weblogic/1.0/weblogic.xsd">

  <work-manager>
    <name>MyWorkManager</name>
    <max-threads-constraint>
      <name>MaxThreads</name>
      <count>30</count>
    </max-threads-constraint>
  </work-manager>
</weblogic>
```

正しいのはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. MyWorkManagerはアプリケーションスコープのワークマネージャーです。
- B. WebモジュールがワークマネージャMyWorkManagerを使用するようにするには、weblogic.xmlの<work-manager>タグの前に<wl-dispatch-policy>MyWorkManager</wl-dispatch-policy>という行を追加します。
- C. MyWorkManagerはグローバルワークマネージャーです。
- D. MyWorkManager はデフォルトのワークマネージャーです。
- E. アプリケーションがマネージド WebLogic Server にデプロイされ、起動されると、WebLogic コンソールの [環境] / [ワークマネージャ] の下に MyWorkManager が表示されます。

正解: ([正解を表示します](#))

A: 特定のアプリケーションまたはモジュールでのみ使用可能なワークマネージャを作成できます。アプリケーションスコープのワークマネージャは、WebLogic Server管理コンソールおよび以下の記述子で定義できます。

weblogic-application.xml

weblogic-ejb-jar.xml

weblogic.xml

B: メソッドは、デプロイメント記述子の <dispatch-policy> 要素を使用して、ワークマネージャに割り当てられます。

参考文献 :

質問: 23

クライアントは、さまざまなJMSトピックに送信されたメッセージを受信するために、分散された宛先に接続されます。

最近、ネットワーク障害によりJMS接続が中断され、クライアント側でも接続が切断されました。

分散型宛先に障害が発生した場合に、クライアントへのシームレスなフェイルオーバーをどのように保証しますか？ (最適な回答を選択してください。)

- A. クラスタレベルでフェイルオーバーが適切に処理されている場合、クライアントレベルでの対応はありません。
- B. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、1ientReconnectOptions パラメータを Automatic に設定します。
- C. クライアント例外ハンドラに自動再接続メカニズムを実装します。
- D. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、AutomaticClientReconnect を有効に設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

障害が発生した分散宛先に接続しているクライアントをフェイルオーバーする簡単な方法は、onException をキャッチした後に分散宛先に接続する再接続ロジックをクライアントコードに記述することです。

質問: 24

WebLogic ServerドメインでNode Managerを使用するためのスクリプトを作成する責任はあなたにあります。

WLSTコマンド「nmEnroll」を正しく説明している記述を4つ選びなさい。4つ選択してください。）

- A. nmEnroll コマンドは、そのドメインが管理サーバーのルート ディレクトリを共有していない限り、マシンごとに WebLogic ドメインごとに 1 回実行されます。
- B. nmEnroll コマンドを使用すると、nmConnect コマンドを本番環境で使用できるようになります。
- C. nmEnroll を呼び出す際には、WLST が管理サーバーに接続されている必要があります。
- D. nmEnroll を呼び出すときは、WLST がオフラインである必要があります。
- E. nmEnroll コマンドは、nm_password.properties ファイルと SerializedSystemIni.dat ファイルをダウンロードします。
- F. nmEnroll を呼び出す際には、WLST がノードマネージャに接続されている必要があります。
- G. nmEnroll を呼び出す際は、WLST がノードマネージャに接続されていない必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 25

あなたは、管理対象のCoherenceサーバーが構成されているWebLogic Serverドメインのプロキシ層を構成する任務を負っています。

このタスクの一環として、Coherenceキャッシュ構成ファイルには何を含める必要がありますか？（最適な回答を選択してください。）

- A. Coherence*ExtendクライアントがTCP/IP経由でクラスタに接続できるようにするための接続プロパティ
- B. クライアントのWebブラウザでCoherenceキャッシュを有効にするためのネットワーク接続設定
- C. Webサーバー層でCoherenceキャッシュを有効にするためのHTTPプロキシサーバー設定
- D. WAN経由で接続された2つのCoherenceクラスタ間でプッシュレプリケーションを有効にするための接続プロパティ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 26

あなたは、ドメイン内の各サーバーにデフォルトの組み込み診断モジュールが構成されているWebLogicドメインを管理しています。

あなたには以下の要件があります。

- * 組み込みの診断モジュールでは収集されないメトリクスを取得したい場合。
- * 既存の組み込みモジュールによって既に取得されている指標を引き続き取得したい場合。
- * サーバーを再起動した後も設定が保持されるようにしたい場合。

この結果を達成するために適用できる2つのアプローチは何ですか？ 2つ選択してください。）

- A. 組み込みモジュールを複製し、そこにメトリクスを追加し、既存のモジュールを非アクティブ化し、新しいモジュールをアクティブ化します。
- B. 組み込みモジュールはそのままにして、新しいモジュールを作成し、そこにメトリクスを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。
- C. 組み込みモジュールはそのままにして、外部リソース記述子モジュールを作成し、そこにメトリクスを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。
- D. 組み込みモジュールを削除し、外部リソース記述子モジュールを作成して、組み込みメトリックと新しいメトリックを追加し、組み込みモジュールと並行して新しいモジュールをアクティブ化します。

正解: ([正解を表示します](#))

特定のドメイン内で、異なる構成を持つ複数の診断システムモジュールを作成できます。

注 :サーバーレベルで計測、ハーベスター、監視および通知コンポーネントを設定して使用するには、まず診断システムモジュールと呼ばれるシステムリソースを作成する必要があります。このモジュールには、これらのコンポーネントすべての設定が含まれます。診断システムモジュールの設定は、リソース記述子で定義されます。リソース記述子は、構成済みでも外部でも構いません。

質問: 27

A. ポイントツーポイントメッセージング

C. データグラムメッセージング

正解: (正解を表示します)

誤った回答：

D: JMS仕様の「メッセージ配信モード」の項にあるように、メッセージは永続的または非永続的に指定できます。

質問: 28

The diagram is divided into two horizontal sections, both labeled "WebLogic Cluster".

The top section shows a standard WebLogic Cluster. It contains three "Managed Coherence server" boxes. Each box contains a single component labeled "GAR" (Gateway to the Repository). Ellipses between the boxes indicate that there can be more than three servers in the cluster.

The bottom section shows a WebLogic Cluster with Managed Coherence servers. It also contains three "Managed Coherence server" boxes, with ellipses indicating more servers. Each box contains two components: "GAR" and "WAR" (WebAssembly Runtime). This configuration suggests that each server in this cluster is capable of handling both gateway and runtime tasks.

それぞれn台のサーバーからなる2つのWebLogicクラスタ

1つのクラスターにはGARデプロイメントが含まれています

スタンドアロンGAR展開

この構成に基づくと、このドメインにおけるCoherenceクラスタの典型的な構成はどのようなものですか？

A. 両方の WebLogic クラスタを含む単一の Coherence クラスタ。

EARクラスタはストレージが無効になっています。

GARクラスタはストレージに対応しています。

B. 両方のWebLogicクラスタを含む単一のCoherenceクラスタ/

EARクラスタはストレージに対応しています。

GARクラスターはストレージが無効になっています。

C. 各WebLogicクラスタに対応するCoherenceクラスタ。

EARおよびGARクラスターは、ストレージが有効化されたレプリケートトポロジーを使用します。

D. 両方の WebLogic クラスタを含む単一の Coherence クラスタ。

EARクラスタとスタンドアロンGARクラスタはどちらもストレージ機能を備えています。

正解: A ([コメントを发表する](#))

説明/参考資料:

Coherenceクラスタには、任意の数の管理対象Coherenceサーバーを含めることができます。サーバーは、スタンドアロンの管理対象サーバーでも、Coherenceクラスタに関連付けられたWebLogic Serverクラスタの一部でも構いません。

* storage-disabled - データ保存を担当しない管理対象のCoherenceサーバーで、Coherenceアプリケーション (キャッシュクライアント)のホストとして使用されます。CoherenceアプリケーションのGARはEARにパッケージ化され、storage-disabledの管理対象Coherenceサーバーにデプロイされます。

* ストレージ対応 - クラスター内のデータを保存する役割を担う、管理対象のCoherenceサーバー。

CoherenceアプリケーションはGrid ARchives (GAR)としてパッケージ化され、ストレージ対応のマネージドCoherenceサーバーにデプロイされます。

参考資料 <https://docs.oracle.com/middleware/1212/wls/CLUST/coherence.htm#CLUST660>

質問: 29

ハードウェアロードバランサー (HWLB)は、WebLogic Serverドメインへの主要なエントリポイントとして配置されます。アプリケーションの一部は、クライアントからドメインへのネットワーク上のデータを保護するためにSSLを使用します。



お客様のドメインにとって最適なパフォーマンスを提供する構成はどれですか？（最適な回答を選択してください。）

A. HWLB を構成して SSL ハードウェア アクセラレータを使用し、SSL を終端します。

B. HWLB をパススルー SSL を使用するように構成し、WebLogic 上で SSL ハードウェア アクセラレータを構成し、SSL を終端します。

C. HWLB を構成して、SSL 処理を WebLogic Proxy プラグインに委任し、SSL を終端します。

D. HWLB が接続先の WebLogic Server に SSL をパススルーして接続し、SSL を終端するように構成します。

正解: ([正解を表示します](#))

ほとんどのアーキテクチャでは、パフォーマンス上の理由からSSLはハードウェアロードバランサーで終端され、内部トラフィックはHTTPを使用して通信できるようになります。

参考文献:

質問: 30

Oracle Linux環境で、WebLogicマネージドサーバーインスタンスのプロセスIDを確認します。

```
ps -ef | grep ManagedServer
oracle    19142 19090 26 15:08 pts/1    00:00:16 /usr/java/jdk1.7.0_60/bin/java -server
-Xms256m -Xmx512m -XX:MaxPermSize=256m -Dweblogic.Name=ManagedServer
...weblogic.Server
```

サーバー上でスタックしているスレッドを調べるためにスレッドダンプを発行するには、どの2つのコマンドラインオプションを使用できますか？
(2つ選択してください。)

- A. jstat -class 19142
- B. jstack 19142
- C. java weblogic.utils.ThreadDump 19142
- D. キル -3 19142
- E. キル -5 19142

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 31

宛先キーを作成することで、JMS宛先へのメッセージ処理に順序付けを導入しようとしています。
JMS宛先キーの設定について、正しい記述はどれですか？（最適なものを選択してください。）

- A. WLST を使用して JMS 宛先キーを指定することはできません。
- B. JMS宛先キーを使用して、メッセージを後入れ先出し (LIFO) 順に並べ替えることはできません。
- C. JMS宛先キーでは、ユーザー定義のソートキーを使用できます。
- D. 宛先キーはメッセージ本文に適用できます。

正解: A ([コメントを發表する](#))

WebLogic Server管理コンソールを使用すると、システムモジュール内の宛先キーリソースを構成、変更、ターゲット設定、および削除できます。

参考文献：

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTTest.com
1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

管理サーバーとクラスタ化された管理サーバーをホストするマシンの内部および周辺の換気と冷却が不十分な場合、ローカルハードドライブに障害が発生し、結果として両方のサーバーがクラッシュします。

本番環境でこのようなクラッシュが発生したのは今回が初めてですが、想定どおり自動的なサーバー全体移行が開始されます。クラスタ化されたサーバーは、これまで稼働したことのないマシンに移行するため、新しいマシン上でサーバーを起動することができません。

この移行されたクラスタサーバーの起動に役立つ操作はどれでしょうか？（最適な回答を選択してください。）

- A. ノードマネージャをシャットダウンして再起動してください。
- B. サーバー移行を実行する際は、管理サーバーが稼働していることを確認してください。
- C. まず管理サーバーを再起動し、この管理対象サーバーをクラスターから削除し、手動で再起動してから、クラスターに再度ターゲット設定します。
- D. クラスター内のすべての移行可能なサーバーに共有ディスク/NFSを使用します。
- E. ノードマネージャのセキュリティファイルを、移行先のサーバーをホストする新しいマシンにコピーします。

正解: ([正解を表示します](#))

サーバーが依存するファイルをマシン間で転送するための組み込みメカニズムはありません。ファイルの可用性を確保するには、すべてのマシンからアクセス可能なディスクを使用するのが推奨される方法です。サーバー間でディスクを共有できない場合は、domain_dir/bin の内容を各マシンにコピーする必要があります。

参考文献：

質問: 33

貴社では、Oracle RACデータベースに接続するアプリケーションをサポートするために、WebLogic Server上のマルチデータソース (MDS)を使用しています。あなたは、MDS用の新しいコールバックハンドラを構成するよう指示されました。

関連するMDSオプションと動作に関して、正しい記述はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. フェイルオーバーMDSアルゴリズムを使用する場合、コールバックハンドラはオプションです。
- B. MDS でフェイルオーバー コールバック ハンドラー属性が設定されている場合、テスト頻度属性は使用されなくなります。
- C. フェイルオーバーとフェイルバックの両方の決定に対してコールバックハンドラが呼び出されます。
- D. 各 WebLogic サーバーに対して登録できるコールバック ハンドラーは 1 つのみです。

正解: ([正解を表示します](#))

C: マルチデータソース内のフェイルオーバーとフェイルバックを制御するために使用されるコールバックハンドラには、weblogic.jdbc.extensions.ConnectionPoolFailoverCallback インターフェイスの実装が含まれている必要があります。

D: WebLogic Server にコールバック ハンドラを登録することで、フェイルオーバー アルゴリズムを使用するマルチ データ ソースが、マルチ データ ソース内の 1 つの JDBC データ ソースからリスト内の次のデータ ソースへの接続要求をフェイルオーバーするタイミングを制御できます。

参考文献：

質問: 34

ハードウェアロードバランサー (HWLB)は、WebLogic Serverドメインへの主要なエントリポイントとして配置されます。アプリケーションの一部は、クライアントからドメインへのネットワーク上のデータを保護するためにSSLを使用します。



お客様のドメインにとって最適なパフォーマンスを提供する構成はどれですか？ (最適な回答を選択してください。)

- A. HWLB を構成して SSL ハードウェア アクセラレータを使用し、SSL を終端します。
- B. HWLB をパススルー SSL を使用するように構成し、WebLogic 上で SSL ハードウェア アクセラレータを構成し、SSL を終端します。
- C. HWLB を構成して、SSL 処理を WebLogic Proxy プラグインに委任し、SSL を終端します。
- D. HWLB が接続先の WebLogic Server に SSL をパススルーして接続し、SSL を終端するように構成します。

正解: A ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

ほとんどのアーキテクチャでは、パフォーマンス上の理由からSSLはハードウェアロードバランサーで終端され、内部トラフィックはHTTPを使用して通信できるようになります。

参考資料 <http://ora-soa.blogspot.se/2012/10/weblogic-setting-wrong-protocol-in-wsdl.html>

質問: 35

あなたは、宛先メンバーを作成または指定する必要のない、分散型宛先アプリケーションを開発および管理しています。

管理コンソールでどの設定手順を実行すれば、統一分散トピックを作成してターゲットに設定し、JMSモジュールが既にターゲットに設定されているJMSサーバー上にWLSが必要なメンバーを作成するように設定できますか？（最適な回答を選択してください。）

A. 1. [サービス]>[メッセージング]を展開し、宛先を設定する JMS モジュールを選択します。2. [新規] をクリックし、[Uniform Distributed Topic] を選択して [次へ] をクリックします。3. 名前、JNDI 名を入力し、[次へ] をクリックします。4.

対象サーバーを選択し、完了」をクリックしてトピックの作成を完了します。

B. 1. [サービス]>[メッセージング]を展開し、宛先を設定する JMS モジュールを選択します。2. [新規] をクリックし、[分散トピック] を選択して [次へ] をクリックします。3. 名前、JNDI 名を入力し、宛先タイプを [Uniform] に設定します。4. [次へ] をクリックし、対象サーバーを選択して [完了] をクリックすると、トピックの作成が完了します。

C. 1. [サービス]>[メッセージング]を展開し、宛先を設定する JMS モジュールを選択します。2. [新規] をクリックし、[分散トピック] を選択して [次へ] をクリックします。3. 名前、JNDI 名を入力し、[詳細オプション] を展開します。4. [宛先タイプ] を [ユニフォーム] に設定します。5. [次へ] をクリックし、対象サーバーを選択して [完了] をクリックし、トピックの作成を完了します。

D. 1. [サービス]>[メッセージング]を展開し、宛先を設定する JMS モジュールを選択します。2. [新規] をクリックし、[分散キュー] を選択して [次へ] をクリックします。3. 名前、JNDI 名を入力し、宛先タイプを [Uniform] に設定します。4. [次へ] をクリックし、対象サーバーを選択して [完了] をクリックし、キューの作成を完了します。

E. 1. サービス>メッセージングを展開し、宛先を選択します。2. [新規] をクリックし、[分散トピック] を選択して [次へ] をクリックします。3. 名前、JNDI 名を入力し、宛先タイプを Uniform に設定します。4. [次へ] をクリックし、このトピックに割り当てられている JMS モジュールを選択します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 36

指定された確認応答モードでJMSセッションを設定しようとしています。メッセージを受信するアプリケーションが、確認応答を明示的に処理するようにしたいと考えているようです。

使用可能な確認応答メカニズムとして、どの選択肢が適切ですか？（最も適切なものを選んでください。）

A. 自動承認

B. クライアント確認

C. DUPS_OK_ACKNOWLEDGE

D. DEFAULT_ACKNOWLEDGE

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

CLIENT_ACKNOWLEDGE を使用すると、Session オブジェクトは、アプリケーションが受信メッセージに対して acknowledge メソッドを呼び出すことを前提とします。このメソッドが呼び出されると、セッションは前回の acknowledge 以降に受信したすべてのメッセージに対して応答を返します。

誤った回答：

A: CLIENT_ACKNOWLEDGEを使用すると、Sessionオブジェクトは、受信側のアプリケーションメソッドがメッセージの処理を終えて戻ってきた時点で、メッセージの受信を確認します。

C: DUPS_OK_ACKNOWLEDGE を使用すると、Session オブジェクトは、受信アプリケーション メソッドがメッセージの処理から戻った後にメッセージの受信を確認します。重複した確認応答が許可されます。

D: DEFAULT_ACKNOWLEDGE という名前の確認モードはありません。

参照 http://docs.oracle.com/cd/E12840_01/wls/docs103/jms/fund.html

質問: 37

JMSキューに入力されたメッセージの一部が期限切れとなり、キューから削除されています。これらの期限切れメッセージについて、より詳細な情報が必要です。

この実現に役立つメカニズムはどれですか？（最適なものを選んでください。）

A. キューの 期限切れメッセージをログに記録する」属性をtrueに設定します。

B. キューに ExpirationEventHandler オブジェクトを関連付けます。

C. JMSキューのメッセージライフサイクルログを有効にします。

D. 期限切れメッセージのプロパティをログに記録する JMS キューの有効期限イベントハンドラを設定します。

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

有効期限ポリシーのログオプションは、期限切れのメッセージをシステムから削除し、メッセージがシステムから削除されたことを示すエントリをサーバーログファイルに書き込みます。実際にログに記録される情報は、有効期限ログポリシーによって定義されます。

質問: 38

ドメインテンプレートを作成できるツールを3つ選択してください。

A. アーカイブコマンド

B. WLST

C. ドメインテンプレートビルダー

D. weblogic.Build

E. スマートテンプレートウィザード

F. JDeveloper

G. パックコマンド

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 39

指定された確認応答モードでJMSセッションを設定しようとしています。メッセージを受信するアプリケーションが、確認応答を明示的に処理するようにしたいと考えているようです。

使用可能な確認応答メカニズムとして、どの選択肢が適切ですか？（最も適切なものを選んでください。）

A. 自動承認

B. クライアント確認

C. DUPS_OK_ACKNOWLEDGE

D. DEFAULT_ACKNOWLEDGE

正解: **B** ([コメントを發表する](#))

CLIENT_ACKNOWLEDGE を使用すると、Session オブジェクトは、アプリケーションが受信メッセージに対して acknowledge メソッドを呼び出すことを前提とします。このメソッドが呼び出されると、セッションは前回の acknowledge 以降に受信したすべてのメッセージに対して応答を返します。

誤った回答：

A: CLIENT_ACKNOWLEDGEを使用すると、Sessionオブジェクトは、受信側のアプリケーションメソッドがメッセージの処理を終えて戻ってきた時点で、メッセージの受信を確認します。

C: DUPS_OK_ACKNOWLEDGE を使用すると、Session オブジェクトは、受信アプリケーション メソッドがメッセージの処理から戻った後にメッセージの受信を確認します。重複した確認応答が許可されます。

D: DEFAULT_ACKNOWLEDGE という名前の確認モードはありません。

参照 http://docs.oracle.com/cd/E12840_01/wls/docs103/jms/fund.html

質問: 40

開発者は、WebLogic管理者が1つ以上のWebLogic Server本番環境にデプロイするアプリケーションに、デプロイメントプランを使用することを決定しました。展開計画を活用することで達成できる主な目標はどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. データソースのJNDI名など、アプリケーションの外部リソース要件を公開します。
- B. チューニングパラメータなどの追加の設定可能なプロパティを公開します。
- C. デプロイ対象のサーバーを公開します。
- D. アプリケーション内の特定の Java EE モジュール (EJB など) を公開します。
- E. Webサービス用のWSDLなど、アプリケーションへのアクセスポイントを公開します。

正解: **A,B** ([コメントを發表する](#))

説明

デプロイメント構成をエクスポートする主な目的は以下のとおりです。

* アプリケーションの外部リソース要件を、デプロイメントプラン内のヌル変数として公開する。

アプリケーションが必要とする外部リソースは、アプリケーションが異なる環境にデプロイされる際に変更される可能性があります。たとえば、開発環境で使用されるデータソースのJNDI名は、テスト環境や本番環境で使用されるものとは異なる場合があります。これらのJNDI名を変数として公開することで、デプロイ担当者はアプリケーションのデプロイ時に利用可能なリソースを使用したり、必要なリソースを作成したりすることが容易になります。

* チューニングパラメータなどの追加の設定可能なプロパティを、デプロイメントプランの変数として公開するため。

質問: 41

WebLogic Server (WLS) 環境は、複数のドメインで構成されています。

WLSドメインに関する正しい記述はどれですか？（~~最~~適切なものを選んでください。）

- A. 複数のドメインが同じマシン上で実行されている場合、同じまたは別々のWLSインストールを使用できます。
- B. ドメインには最低1台のマネージドサーバーが必要です。
- C. 同じマシン上で複数のドメインを実行する場合、それぞれに個別のWLSインストールが必要です。
- D. 同じマシン上で複数のドメインを実行する場合、個別のノードマネージャが必要です。
- E. 複数のドメインが同じ管理サーバーを共有できます。

正解: ([正解を表示します](#))

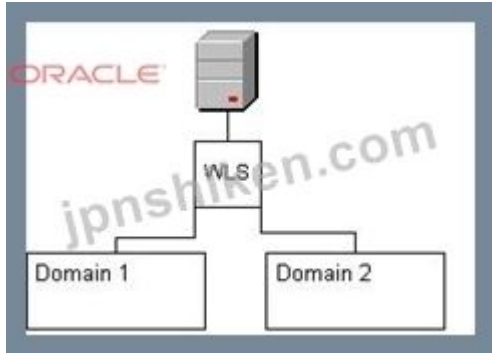
説明／参考資料：

単一のOracle WebLogic Serverインストールを使用して複数のドメインを作成および実行することも、複数のインストールを使用して単一のドメインを実行することもできます。

誤った回答：

B :ドメインには、管理サーバーと呼ばれる特別なWebLogic Serverインスタンスが含まれており、これはドメイン内のすべてのリソースを構成および管理するための中心的な役割を担います。通常、ドメインには、管理対象サーバーと呼ばれる追加のWebLogic Serverインスタンスが含まれるように構成します。

C: 1つのWLSインストールで複数のドメインを持つことができます。



D: nodemanager.domains ファイルで複数のドメインを指定することで、複数の WebLogic ドメインに属するサーバー インスタンスを管理する、単一のマシン スコープの Node Manager プロセスを構成できます。

E: 各ドメインは、管理活動を実行するために独自の管理サーバーを必要とします。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E12839_01/web.11111/e13716/understand_domains.htm#DOMCF116

質問: 42

WebLogic診断フレームワーク (WLDF)を使用して、実行中のサーバーのランタイムデータに基づいて、特定のシナリオにおけるドメインを監視しています。アプリケーションのさまざまな側面は、異なるグループが担当しています。

そのため、構成は以下の要件を満たす必要があります。

* 通知は、アプリケーションのそれぞれの部分を担当する適切なグループにのみ送信する必要があります。

* 各レベルの監視を必要に応じて有効化および無効化できることを確認してください。

この結果を実現するには、WLDFの監視機能と通知機能をどのように設定すればよいでしょうか？（最適な回答を選択してください。）

- A. 各エリアごとに監視機能を持つモジュールを1つ設定し、通知フィルターを使用して各エリアの適切なグループにメールを送信します。
- B. 各エリアごとに監視機能を持つモジュールを1つ設定し、各監視機能はそのエリアを担当するグループに通知メールを送信します。
- C. 各エリアごとに、通知フィルターを使用して各エリアの適切なグループにメールを送信するウォッチを備えたモジュールを設定します。
- D. 各エリアごとに、そのエリアを担当するグループに通知メールを送信するウォッチを備えたモジュールを設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 43

開発者は、WebLogic管理者が1つ以上のWebLogic Server本番環境にデプロイするアプリケーションに、デプロイメントプランを使用することを決定しました。展開計画を活用することで達成できる主な目標はどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. データソースのJNDI名など、アプリケーションの外部リソース要件を公開します。
- B. チューニングパラメータなどの追加の設定可能なプロパティを公開します。
- C. デプロイ対象のサーバーを公開します。
- D. アプリケーション内の特定の Java EE モジュール (EJB など) を公開します。
- E. Webサービス用のWSDLなど、アプリケーションへのアクセスポイントを公開します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

デプロイメント構成をエクスポートする主な目的は以下のとおりです。

* アプリケーションの外部リソース要件を、デプロイメントプラン内のヌル変数として公開する。

アプリケーションが必要とする外部リソースは、アプリケーションが異なる環境にデプロイされる際に変更される可能性があります。たとえば、開発環境で使用されるデータソースのJNDI名は、テスト環境や本番環境で使用されるものとは異なる場合があります。これらのJNDI名を変数として公開することで、デプロイ担当者はアプリケーションのデプロイ時に利用可能なリソースを使用したり、必要なリソースを作成したりすることが容易になります。

* チューニングパラメータなどの追加の設定可能なプロパティを、デプロイメントプランの変数として公開するため。

参考資料 http://docs.oracle.com/cd/E12840_01/wls/docs103/deployment/export.html

質問: 44

アプリケーションには、JMSキュー上のメッセージをリスンするメッセージ駆動型Bean (MDB)が含まれています。MDBによってすべてのメッセージが正確に一度だけ処理されるようにする必要があります。

この要件を満たすには、どの構成を選択すればよいですか？（最適な選択肢を選んでください。）

- A. MDB の onMessage メソッドに例外ハンドラを追加します。
- B. デプロイメント記述子でMDBインスタンス数を1に設定します。
- C. キューの再配達制限をゼロに設定します。
- D. コンテナ管理トランザクションを使用することで、メッセージが未確認の場合に再配信されるようにします。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 45

あなたは、バージョン管理されたアプリケーションを本番環境にデプロイしています。最新の本番環境への再デプロイで、古いバージョンが早すぎる時期に廃止されてしまったように見える理由をトラブルシューティングするよう依頼されました。

この場合、アプリケーションにはアクティブなRMIクライアントが存在していましたが、それらのクライアントからの呼び出しは、retirement timeout引数で定義された5分間を待つことなく、すぐに新しいバージョンにリダイレクトされました。スクリプトコマンドは次のとおりです。

```
java weblogic.Deployer -adminurl http://localhost:7001 -user weblogic
-password Welcome1 -redeploy -name myDeployment
-source /myDeployments/myApplication/appX
-retiretimeout 300
```

あなたは、本番環境への再デプロイを実行した後、(アクティブなRMIクライアントが存在する場合) 古いバージョンが5分間アクティブな状態を維持することを期待していました。

古いバージョンがアクティブな状態を維持するには、このコマンドにどのような変更を加えるべきだったのでしょうか？

(最適な答えを選んでください。)

```
java weblogic.Deployer -adminurl http://localhost:7001 -user weblogic
```

- A. -password Welcome1 -redeploy -name myDeployment
- source /myDeployments/myApplication/appX
- retiretimeout 300 -rmigraceperiod 300

```
java weblogic.Deployer -adminurl http://localhost:7001 -user weblogic
```

- B. -password Welcome1 -redeploy -name myDeployment
- source /myDeployments/myApplication/appX
- retiretimeout 300 -keepsessions

```
java weblogic.Deployer -adminurl http://localhost:7001 -user weblogic
```

- C. -password Welcome1 -redeploy -name myDeployment

```
-source /myDeployments/myApplication/appX
-retiretimeout 300 -timeout 300
java weblogic.Deployer -adminurl http://localhost:7001 -user weblogic
D. -password Welcome1 -redploy -name myDeployment
-source /myDeployments/myApplication/appX
-retiretimeout 300 -remote
```

正解: **D** ([コメントを発表する](#))

-remote 引数は、weblogic.Deployer が管理サーバーと同じマシンで実行されていないこと、およびコマンドで指定されたソースパスが管理サーバーマシン自体に対して有効であることを示します。-remote オプションを使用しない場合、weblogic.Deployer はすべてのソースパスがローカルマシン上の有効なパスであるとみなします。

誤った回答 :

weblogic.Deployer には、rmigraceperiod、-keepsessions、または -timeout という名前の引数はありません。

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs90/deployment/wldeployer.html

質問: 46

JMSモジュールのセキュリティポリシーを設定しています。モジュールのセキュリティ条件をいくつか指定しています。

この状況において有効なセキュリティ条件はどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. JMSモジュールは午後1時から午後6時までの間のみアクセスできます。
- B. JMSモジュールは、不正アクセス時にカスタムセキュリティ例外をスローする必要があります。
- C. JMSモジュールは一度に50個のメッセージしか処理できません。
- D. JMSモジュールには、オペレーターグループに属するユーザーのみがアクセスできます。
- E. JMSモジュールは受信専用モードでアクセスできます。

正解: **A,D** ([コメントを発表する](#))

セキュリティ条件は2つあります。

* 時間的制約あり

* グループ別またはユーザー別

参照 http://docs.oracle.com/html/E24401_02/taskhelp/jms_modules/modules/ConfigureJMSModuleSecurityPolicies.html

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

マルチスレッドアプリケーションがあり、JNDIツリーからWebLogic JMS ConnectionFactoryオブジェクトを検索します。

この状況において、正しい記述はどれですか？（最も適切なものを選んでください。）

- A. 許可されていません。マルチスレッドアプリケーションはConnectionFactoryオブジェクトにアクセスできません。
- B. ConnectionFactory オブジェクトへのアクセスは同期化する必要があります。
- C. ConnectionFactory オブジェクトは、特別な考慮なしにマルチスレッドアプリケーションで参照できます。
- D. 複数のスレッドが同時に ConnectionFactory オブジェクトを使用しようとすると、例外が発生します。

E. マルチスレッド環境では、ConnectionFactory から接続オブジェクトを安全に作成することはできません。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

接続ファクトリは同時使用をサポートしており、複数のスレッドが同時にオブジェクトにアクセスすることを可能にします。

セッションとそのメッセージプロデューサーおよびコンシューマーには、一度に 1 つのスレッドからしかアクセスできません (つまり、アクセスは同期されている必要があります)。複数のスレッドが同時にアクセスした場合、その動作は未定義です。

誤った回答：

A、E：接続ファクトリは同時使用をサポートしており、複数のスレッドが同時にオブジェクトにアクセスできるようにします。

C、D：セッションとそのメッセージプロデューサーおよびコンシューマーには、一度に1つのスレッドしかアクセスできません。

複数のスレッドが同時にアクセスした場合、それらの動作は未定義です。

参照 http://docs.oracle.com/cd/E12840_01/wls/docs103/jms/fund.html

質問: 48

クラスター内の異常なサーバーから別のターゲットへ、ピン留めされたサービスを自動的に移行するように設定したいと考えています。そのために、コンセンサスリースを設定したいです。

この状況において正しい記述はどれですか？ 2つ選択してください。）

A. クラスターの「移行基準」ポリシーをコンセンサスに設定します。

B. 移行可能なサーバーはノードマネージャーに関連付けられている必要があります。

C. サーバーの「移行基準」ポリシーをコンセンサスに設定します。

D. コンセンサスリース情報を管理するために、高可用性データベースを構成する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

A: 自動移行オプションを使用するには、クラスターの移行基準ポリシーをデータベースリースまたはコンセンサスリースのいずれかに設定する必要があります。

C：移行ベースをコンセンサスリースに設定すると、メンバーサーバーがリース情報をメモリ内に保持するため、リースを使用するために高可用性データベースを用意する必要がなくなります。このバージョンのリースでは、クラスター内のサーバーを制御するためにノードマネージャを使用する必要があります。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs103/cluster/service_migration.html

質問: 49

管理サーバーとクラスタ化された管理サーバーをホストするマシンの内部および周辺の換気と冷却が不十分な場合、ローカルハードドライブに障害が発生し、結果として両方のサーバーがクラッシュします。

本番環境でこのようなクラッシュが発生したのは今回が初めてですが、想定どおり自動的なサーバー全体移行が開始されます。クラスタ化されたサーバーは、これまで稼働したことのないマシンに移行するため、新しいマシン上でサーバーを起動することができません。

この移行されたクラスタサーバーの起動に役立つ操作はどれでしょうか？（最適な回答を選択してください。）

A. ノードマネージャをシャットダウンして再起動してください。

B. サーバー移行を実行する際は、管理サーバーが稼働していることを確認してください。

C. まず管理サーバーを再起動し、この管理対象サーバーをクラスターから削除し、手動で再起動してから、クラスターに再度ターゲット設定します。

D. クラスター内のすべての移行可能なサーバーに共有ディスク/NFSを使用します。

E. ノードマネージャのセキュリティファイルを、移行先のサーバーをホストする新しいマシンにコピーします。

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

サーバーが依存するファイルをマシン間で転送するための組み込みメカニズムはありません。ファイルの可用性を確保するには、すべてのマシンからアクセス可能なディスクを使用するのが推奨される方法です。サーバー間でディスクを共有できない場合は、domain_dir/bin の内容を各マシンにコピーする必要があります。

参考資料 http://docs.oracle.com/cd/E17904_01/web.1111/e13709/migration.htm#CLUST271

質問: 50
管理サーバーはWebLogicドメインの主要コンポーネントです。ドメイン内のメイン管理サーバーがクラッシュした場合に備えて、スタンバイ管理サーバーを用意する必要があります。

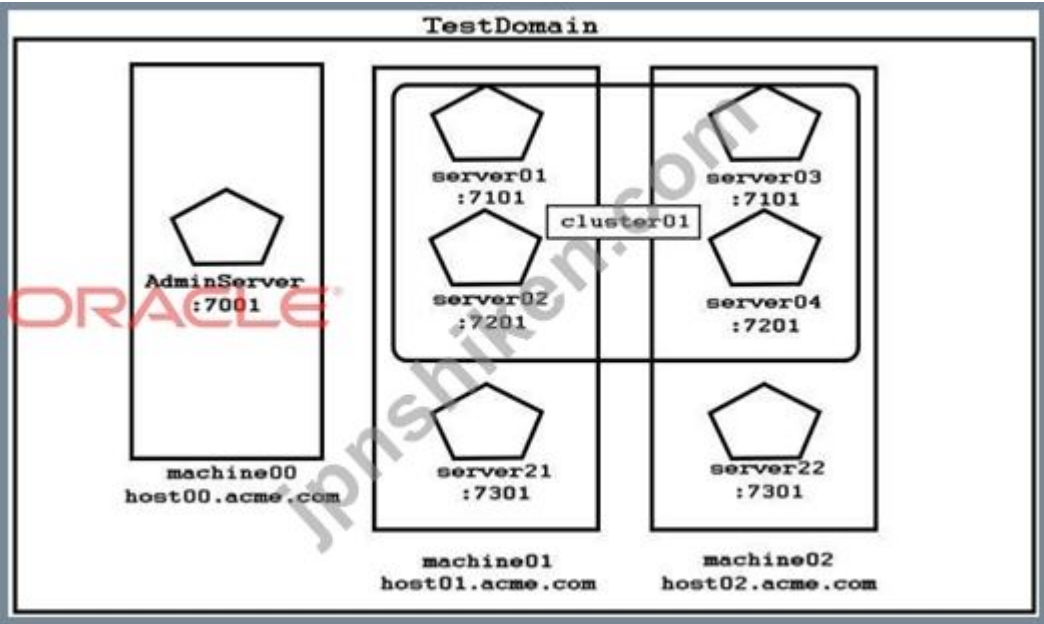
この作業を行う上で、どのユーティリティが役立ちますか？（最適なものを選んでください。）

- A. 設定ウィザード
- B. ドメインテンプレートビルダー
- C. 梱包／開梱
- D. エンタープライズマネージャー

正解: [\(正解を表示します\)](#)

参考文献：

質問: 51
ドメイン図を調べてください。



すべてのサーバーが稼働しており、管理サーバーに接続されたオンラインのWLSTセッションが確立されていると仮定します。

変数 x を machine02configuration MBean への参照として設定するコードオプションを 2 つ選択してください。

2つ選択してください。）

- A. cd('/Machines/machine02')
 - B. x = cmo
 - C. x = cmo.getRef('/Machines/machine02')
 - D. getRef('/Machines/machine02')
 - E. x = cmo.currentObj()
- cmo.getMBean('/Machines/machine02')

```
F. x = cmo.currObj()
cd('/Machines/machine02')
Gx = getRef(cmo)
x = getConfiguration('/Machines/machine02')
```

正解: ([正解を表示します](#))

A: WLSTオンラインには、現在の管理対象を表す変数cmoが用意されています。

例: wls:/mydomain/serverConfig/Servers/myserver/Log/myserver> cmo

[MBeanServerInvocationHandler]mydomain:Name=myserver,Server=myserver,Type=Log B: wls:/mydomain/edit !> bean=getMBean('Servers/myserver/WebServer/myserver')

wls:/mydomain/edit !> print bean

[MBeanServerInvocationHandler]mydomain:Name=myserver,Type=WebServer,Server=myserver 参考資料:

https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs100/config_scripting/nav_edit.html

質問: 52

あなたは、信頼できるバウチャーから取得したSAMLトークンを使用して、WebLogicドメインの仮想クライアントにシングルサインオンを提供するアプリケーションを管理しています。あなたのドメインは、この認証を管理するためにIDアサーションプロバイダを使用しています。

クライアントの認証に失敗しています。クライアントの戻りコードやサーバーのログファイルには、問題の原因を特定するために役立つ情報は含まれていません。

問題を特定するために、どのようなことをしますか？

- A. SAMLとプロバイダのデバッグを設定し、テストクライアントリクエストを実行して、サーバーログを分析してエラーを探します。
- B. セキュリティ上の理由から、サーバーは詳細な情報を提供しないため、ネットワークパケットを検査してトークンデータを調べます。
- C. セキュリティデバッグログを設定し、テストクライアントリクエストを実行して、ログを分析してエラーを検出します。
- D. SAML IDアサータープロバイダーの順序を変更して、問題が仮想ユーザーに関連しているかどうかを判断します。

正解: **A** ([コメントを発表する](#))

説明

WebLogic Server を起動するコマンドにオプションとして渡すことで、デバッグ スコープまたは属性を有効にできます。SAML デバッグは、コマンドライン オプションを使用するか、WebLogic Server 管理コンソールを使用して構成できます。

質問: 53

バックエンドデータベースのレプリケーション機能や高可用性機能などを活用するために、トランザクションログを永続化するためのJDBC TLOGストアを構成します。

TLOGの設定中に何らかの問題が発生したため、TLOGの設定に関する考慮事項を確認しています。

JDBC TLOGストアの設定に関するガイドラインとして正しいものはどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. WebLogic Server ごとに構成できる JDBC TLOG ストアは 1 つのみです。
- B. JDBC TLOG ストアは RAC データベース用にのみ構成する必要があります。
- C. JDBC TLOG ストアのターゲットにできるのは、グローバル スコープのデータ ソース (アプリケーション スコープではない) のみです。
- D. 複数のWebLogicサーバーが同じJDBC TLOGストアを共有できます。

正解: **A,C** ([コメントを発表する](#))

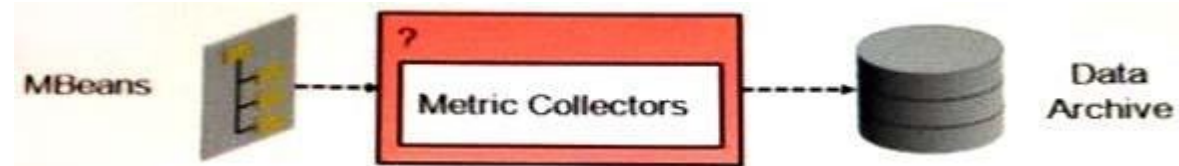
A: WebLogic Serverごとに構成できるJDBC TLOGストアは1つだけです。逆に、複数のWebLogic ServerでJDBC TLOGストアを共有することはできません。

C: JDBC TLOG ストアのターゲットにできるのは、グローバル スコープのデータ ソース (アプリケーション スコープではない) のみです。

参考文献 :

質問: 54

WebLogic診断フレームワーク (WLDF)を使用して、WebLogicドメイン内の過去のMBean属性値を監視したいと考えています。



これを実現するために使用するWLDFコンポーネントはどれですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. メトリックコレクション定義を持つハーベスター
- B. メトリックコレクション定義の監視
- C. メトリック収集定義を持つMBeanコレクター
- D. メトリックコレクション定義を持つアーカイバー

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

WebLogic診断フレームワーク (WLDF)のアーカイブコンポーネントは、WLDFがサーバーインスタンスおよびそこで実行されているアプリケーションから収集したすべてのデータイベント、ログレコード、およびメトリックをキャプチャして永続化します。

アーカイブはアクセスインターフェースを提供し、アクセサはログに記録されたイベントデータや永続化されたメトリクスなど、永続化された履歴データにアクセスできます。

誤った回答：

A: WebLogic診断フレームワーク (WLDF)のハーベスターコンポーネントは、実行中のサーバーでインスタンス化された、対象となるMBeanの属性からメトリックを収集します。ハーベスターは、WebLogic ServerのMBeanとカスタムMBeanの両方からメトリックを収集できます。

B: WebLogic Diagnostics Framework (WLDF) の監視および通知コンポーネントは、サーバーおよびアプリケーションの状態を監視し、監視で設定された基準に基づいて通知を送信する手段を提供します。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E24329_01/web.1211/e24426/architecture.htm#WLDFC124

質問: 55

あなたは、サービスの中断を最小限に抑えながら、本番環境のドメインを段階的にアップグレードする任務を負っています。

ローリングアップデートの特徴はどれですか？（最適な答えを選択してください。）

- A. すべての管理対象サーバーとノードマネージャーをシャットダウンする必要があります。
- B. ローリングアップデート処理中に構成変更を行うことができます。
- C. 自動バックアップは、ローリングアップデートプロセスの一部です。
- D. 管理サーバーをホストしているマシンを最初にアップグレードする必要があります。
- E. 例えば11gから12cへのメジャーアップグレードは、ローリングアップデートで実行できます。

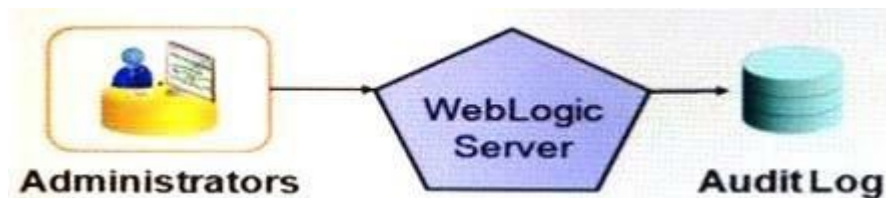
正解: ([正解を表示します](#))

説明

ローリングアップグレードは、メジャー製品バージョン内のアップグレードにのみ適用されます。たとえば、10.0から10.3.1へのアップグレードは可能ですが、9.0から10.0へのアップグレードはできません。

質問: 56

下の図は、WebLogic Serverにおける構成監査の概要図を示しています。管理者がWebLogic Serverドメインの構成を変更すると、その変更内容はログ記録のために監査プロバイダに送信されます。



ログ内の構成監査メッセージを観察者にとって意味のあるものにするには、どのような作業を行う必要がありますか？

- A. すべての管理者に対して一意のユーザーを定義します。
- B. ログメッセージ用の永続ストレージを設定します。
- C. CONFIGの重要度レベルを設定します。
- D. 監査メッセージ用の監査メッセージリスナーを定義します。

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

管理サーバーは、ユーザーがドメイン内の任意のリソースで構成を変更したり、管理操作を実行したりした際に、ログメッセージを出力するように構成できます。たとえば、ユーザーがドメイン内の管理対象サーバーでSSLを無効にすると、管理サーバーはログメッセージを出力します。これらのメッセージは、ドメイン構成内の変更履歴を記録します。その後、構成監査メッセージに応答するJMXリスナーとフィルタを作成して使用できます。

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs81/jmx/notifications.html

質問: 57

ドメインテンプレートビルダーを起動するためのファイルシステム上の場所とコマンドは何ですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. <ORACLE_HOME>\oracle_common\common\bin および config_builder.sh
- B. <ORACLE_HOME>\oracle_common\common\bin および temp_builder.sh
- C. <ORACLE_HOME>\oracle_common\bin および config_builder.sh
- D. <ORACLE_HOME>\oracle_common\bin および temp_builder.sh

正解: ([正解を表示します](#))

UNIXプラットフォームでドメインテンプレートビルダーを起動する

1. 対象システムにログインします。
2. コマンドシェルを開きます。
3. 製品のインストールディレクトリの common/bin サブディレクトリに移動します。例:

```
cd BEA_HOME/wlserver_10.0/common/bin
```

4. 次のスクリプトを実行します。

```
sh config_builder.sh
```

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13179_01/common/docs102/tempbuild/starttb.html#wp1068226

質問: 58

ハードウェアロードバランサー (HDLB) は、WebLogic Server ドメインへの主要なエントリポイントとして配置されます。アプリケーションの一部は、クライアントからドメインへのネットワーク上のデータを保護するためにSSLを使用します。



お客様のドメインにとって最適なパフォーマンスを提供する構成はどれですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. HWLB を構成して SSL ハードウェア アクセラレータを使用し、SSL を終端します。
- B. HWLB をパススルー SSL を使用するように構成し、WebLogic 上で SSL ハードウェア アクセラレータを構成し、SSL を終端します。
- C. HWLB を構成して、SSL 処理を WebLogic Proxy プラグインに委任し、SSL を終端します。
- D. HWLB が接続先の WebLogic Server に SSL をパススルーして接続し、SSL を終端するように構成します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

ほとんどのアーキテクチャでは、パフォーマンス上の理由からSSLはハードウェアロードバランサーで終端され、内部トラフィックはHTTPを使用して通信できるようになります。

質問: 59

複数のホストにドメインをデプロイするプロセスを簡素化するために、ドメインテンプレートを作成しています。
ドメインテンプレートに含めることができる情報の種類を5つ挙げてください。5つ選択してください。）

- A. ドメイン設定 (config.xmlファイルに含まれるもの)
- B. Java Enterprise Edition (Java EE) アプリケーションおよび共有ライブラリ
- C. WindowsおよびUNIXサーバーの起動スクリプト
- D. Windowsスタートメニューのエントリ
- E. カスタムフォルダとファイル
- F. LDAPデータ
- G. JTAログ
- H. メール通知設定

正解: ([正解を表示します](#))

説明

A: config.xml および config.xml で定義されている JDBC および JMS リソースは、デフォルトでは現在のテンプレート ビュー ペインには表示されません。これは、ドメイン テンプレート ビルダーがテンプレートを作成する際に、それらを自動的にテンプレートに含めるためです。

B :アプリケーションの追加または削除画面は、選択したテンプレートまたはドメインにアプリケーションが含まれている場合にのみ表示されます。

C: テンプレートを作成する際は、テンプレートに同梱するスクリプトやファイルにローカルドメイン環境設定が含まれないようにし、構成ウィザードですぐに使用できる状態にしておく必要があります。ドメインテンプレートビルダーは、テンプレートに含まれる標準スクリプト（起動スクリプトなど）を自動的に更新し、さまざまなドメイン環境設定のハードコードされた値を置換変数に置き換えます。

D: [スタートメニュー項目の指定]画面では、Windowsのスタートメニューに追加する項目を作成するように求められます。

E: デフォルトでは、ドメインテンプレートビルダーは、新しいテンプレートのソースとして指定したWebLogicドメインまたはテンプレートのファイルを含みます。新しいテンプレートのソースとしてドメインを選択した場合、一部のファイルとディレクトリは自動的に含まれます。

質問: 60

Webモジュールには特定の調整が必要です。開発チームは、デプロイメント記述子 (weblogic.xml) でモジュールを次のように微調整します。

```
<weblogic xmlns="http://xmlns.oracle.com/weblogic"
  xmlns:j2ee="http://java.sun.com/xml/ns/j2ee"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://xmlns.oracle.com/weblogic
http://xmlns.oracle.com/weblogic/1.0/weblogic.xsd">

  <work-manager>
    <name>MyWorkManager</name>
    <max-threads-constraint>
      <name>MaxThreads</name>
      <count>30</count>
    </max-threads-constraint>
  </work-manager>
</weblogic>
```

正しいのはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. MyWorkManagerはアプリケーションスコープのワークマネージャーです。
- B. WebモジュールがワークマネージャMyWorkManagerを使用するには、weblogic.xmlの<work-manager>タグの前に<wl-dispatch-policy>MyWorkManager</wl-dispatch-policy>という行を追加します。
- C. MyWorkManagerはグローバルワークマネージャーです。
- D. MyWorkManagerはデフォルトのワークマネージャーです。
- E. アプリケーションがマネージド WebLogic Server にデプロイされ、起動されると、WebLogic コンソールの環境/ワークマネージャの下に MyWorkManager が表示されます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

Explanation:

A: 特定のアプリケーションまたはモジュールでのみ使用可能なワークマネージャを作成できます。アプリケーションスコープのワークマネージャは、WebLogic Server管理コンソールおよび以下の記述子で定義できます。

weblogic-application.xml

weblogic-ejb-jar.xml

weblogic.xml

B: メソッドは、デプロイメント記述子の <dispatch-policy> 要素を使用して、ワークマネージャに割り当てられます。

誤った回答 :

E: 環境/作業管理者には、グローバル作業管理者が表示されます。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E24329_01/web.1211/e24432/self_tuned.htm#CNFGD129

質問: 61

何らかの理由で、ドメイン内のサーバーが障害を起こしています。ホストマシンはping可能で、WebLogic JVMプロセスも実行されていますが、ServerRuntimeMBeanのgetState()メソッドがFAILEDを報告しています。

将来、このような事態が発生した場合、障害が発生したサーバーは人手を介さずに自動的にシャットダウンされ、再起動されるようにしたい。同時に、サーバーの再起動にかかる時間と再起動試行回数を制限したい。

この状況を改善するのに役立つ選択肢を2つ選んでください。(2つ選択してください。)

- A. 各サーバー またはクラスター)について、RestartInterval を適切な正の整数に設定します。
- B. ノードマネージャを起動するときは、WLST nmStartコマンドを使用し、RestartMaxsetを適切な正の整数に設定したWLSTプロパティオブジェクトを渡します。
- C. ドメインの /bin ディレクトリにある restartManagedWebLogic.sh スクリプトを実行してサーバーを起動します。
- D. すべての管理対象サーバーが、ReplicationGroupsEnabledがtrueに設定されたクラスターのメンバーであることを確認してください。

正解: ([正解を表示します](#))

B: nmStart コマンドは、起動するサーバー インスタンスを指定します。再起動回数は、Node Manager の startup.properties ファイルで RestartMax プロパティを設定することで定義します。WLST が Node Manager に接続されている状態で nmStart コマンドを使用すると、Node Manager は管理サーバーの監視、停止、および再起動をサポートします。

C: startManagedWebLogic という名前のスクリプトを使用して、管理対象サーバーを起動できます。UNIX システムでは、DOMAIN_NAME/bin/startManagedWebLogic.sh にあります。

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs90/server_start/overview.html

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **62**

WebLogic JDBCデータソースを監視しており、以前のピーク使用状況が終了したため、一部の接続を切断することにしました。なお、このデータソースでは自動縮小は有効になっていません。

JDBCDataSourceRuntimeMBeanに対してshrink()メソッドを実行すると、何が発生しますか？

- A. プール内の接続数は、現在使用されている接続数または minCapacity プロパティ設定のいずれか大きい方に削減されます。
- B. minCapacity プロパティの設定に関係なく、プール内の接続数は、現在使用されている接続数に削減されます。
- C. プール内の接続数は、現在使用されている接続数に関係なく、minCapacity プロパティ設定値まで削減されます。
- D. プール内の未使用接続数が半分に削減されます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

データソースを縮小すると、WebLogic Server は接続プール内の接続数を、初期容量または現在使用中の接続数のいずれか大きい方に削減します。

質問: **63**

JMSモジュールのセキュリティポリシーを設定しています。モジュールのセキュリティ条件をいくつか指定しています。

この状況において有効なセキュリティ条件はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. JMSモジュールは午後1時から午後6時までの間のみアクセスできます。
- B. JMSモジュールは、不正アクセス時にカスタムセキュリティ例外をスローする必要があります。
- C. JMSモジュールは一度に50個のメッセージしか処理できません。
- D. JMSモジュールには、オペレーターグループに属するユーザーのみがアクセスできます。
- E. JMSモジュールは受信専用モードでアクセスできます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

セキュリティ条件は2つあります。

* 時間的制約あり

* グループ別またはユーザー別

参照 http://docs.oracle.com/html/E24401_02/taskhelp/jms_modules/modules/ConfigureJMSModuleSecurityPolicies.html

質問: 64

開発チームは、アプリケーションのCoherenceキャッシュを有効にするGARデプロイメントを作成しました。このGARファイルは、ストレージが有効になっているノードと無効になっているノードの両方で動作するように構成されています。

アプリケーションのWebLogic Serverデプロイメントプロセスの一環として、GARをどのようにパッケージ化しますか？（最適な回答を選択してください。）

- A. ストレージ無効ノードではEARモジュールとして、ストレージ有効ノードではスタンドアロンとして動作する。
- B. ストレージ対応ノードではEARモジュールとして、ストレージ非対応ノードではスタンドアロンとして動作する。
- C. ストレージが無効になっているノードではWAR内、ストレージが有効になっているノードではEAR内
- D. ストレージ有効ノード上のWAR内、およびストレージ無効ノード上のEAR内

正解: ([正解を表示します](#))

マネージドCoherenceサーバーは、クラスタ内での役割によって区別されます。各クラスタ役割ごとに異なるマネージドサーバーインスタンス（できれば異なるWebLogic Server クラスタ）を使用するのがベストプラクティスです。

* ストレージ対応 - クラスタ内のデータを保存する役割を担う、管理対象のCoherenceサーバー。CoherenceアプリケーションはGrid ARchives (GAR)としてパッケージ化され、ストレージ対応の管理対象Coherenceサーバーにデプロイされます。

* storage-disabled - データ保存を担当しない管理対象のCoherenceサーバーで、Coherenceアプリケーション（キャッシュクライアント）のホストとして使用されま
す。CoherenceアプリケーションのGARはEARにパッケージ化され、storage-disabledの管理対象Coherenceサーバーにデプロイされます。

参考文献：

質問: 65

WebLogic Serverドメインの双方向SSLを構成しています。セキュリティ専門家として、クライアント証明書が正規のものであっても、有効な証明書が侵害される可能性は常にあ
ることを認識しています。

WebLogic Serverが受信した証明書が侵害されていないかどうかを確認するために設定できるオプションはどれですか？（2つ選択してください。）

- A. オンライン失効状況プロトコル
- B. 認証失効リスト
- C. オンライン証明書ステータスプロトコル
- D. 証明書失効ステータスプロトコル

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 66

本番環境に、登録済みのJava EE共有ライブラリとアプリケーションデプロイメントプランにアクセスするアプリケーションをデプロイしました。さらに、ライブラリとアプリ
ケーションの両方で、一部の構成プロパティにアノテーションを使用しています。このデプロイメントで使用されているプロパティの現在の状態を把握しようとしています。

WebLogic Serverがデプロイ時に構成プロパティを適用する際に使用する優先順位は、最も高いものから低いものへと順にどれが正しいですか？（最も適切な回答を選択してくだ
さい。）

- A. デプロイメントプラン、アプリケーション記述子、ライブラリ記述子、アプリケーション注釈、ライブラリ注釈

- B. デプロイメントプラン、アプリケーション注釈、ライブラリ注釈、アプリケーション記述子、ライブラリ記述子
- C. デプロイメントプラン、ライブラリ記述子、アプリケーション記述子、ライブラリ注釈、アプリケーション注釈
- D. デプロイメントプラン、アプリケーション記述子、アプリケーション注釈、ライブラリ記述子、ライブラリ注釈
- E. デプロイメントプラン、ライブラリ記述子、ライブラリ注釈、アプリケーション記述子、アプリケーション注釈

正解: ([正解を表示します](#))

エンタープライズアプリケーションの記述子自体の要素は、ライブラリ記述子のすべての要素よりも優先されます。
デプロイメント記述子は、アノテーションで定義された値を上書きすることができます。

誤った回答 :

C、E :エンタープライズアプリケーションの記述子自体の要素は、ライブラリ記述子のすべての要素よりも優先されます。

参考資料 http://docs.oracle.com/cd/E21764_01/web.11111/e13706/libraries.htm#WLPRG355

質問: 67

マルチスレッドアプリケーションがあり、JNDIツリーからWebLogic JMS ConnectionFactoryオブジェクトを検索します。
この状況において、正しい記述はどれですか？（最も適切なものを選んでください。）

- A. 許可されていません。マルチスレッドアプリケーションはConnectionFactoryオブジェクトにアクセスできません。
- B. ConnectionFactory オブジェクトへのアクセスは同期化する必要があります。
- C. ConnectionFactory オブジェクトは、特別な考慮なしにマルチスレッドアプリケーションで参照できます。
- D. 複数のスレッドが同時に ConnectionFactory オブジェクトを使用しようとすると、例外が発生します。
- E. マルチスレッド環境では、ConnectionFactory から接続オブジェクトを安全に作成することはできません。

正解: ([正解を表示します](#))

接続ファクトリは同時使用をサポートしており、複数のスレッドが同時にオブジェクトにアクセスすることを可能にします。

セッションとそのメッセージプロデューサーおよびコンシューマーには、一度に1つのスレッドしかアクセスできません（つまり、アクセスは同期されている必要があります）。複数のスレッドが同時にアクセスした場合、その動作は未定義です。

参考文献 :

質問: 68

管理対象のWebLogicマネージドサーバーには、以下のログがあります。

```
<Jul 22, 2014 3:05:35 PM CEST> <Error> <WebLogicServer> <BEA-000337> <[STUCK]
ExecuteThread: '17' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' has been busy
for "86" seconds working on the request "Workmanager: MyWorkManager, Version: 0,
Scheduled=true, Started=true, Started time: 86409 ms
", which is more than the configured time (StuckThreadMaxTime) of "2" seconds in
"work-manager-shutdown-trigger".
```

調査の結果、以下のデプロイメント記述子 (weblogic.xml) を持つMyAppという名前のWebモジュールが見つかりました。

```
<weblogic-web-app xmlns="http://xmlns.oracle.com/weblogic/weblogic-web-app">
  <wl-dispatch-policy>MyWorkManager</wl-dispatch-policy>
  <work-manager>
    <name>MyWorkManager</name>
    <work-manager-shutdown-trigger>
      <max-stuck-thread-time>2</max-stuck-thread-time>
      <stuck-thread-count>10</stuck-thread-count>
    </work-manager-shutdown-trigger>
  </work-manager>
</weblogic-web-app>
```

正しいのはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. WebモジュールMyAppへのアクセスでHTTPエラー: 503 サービスが利用できませんが返されるようになりました。
- B. WebLogic Server がスタックしたスレッドを自動的に停止するため、ExecuteThread: '17' が使用可能になりました。
- C. 他のスレッドがスタックした場合、WebLogicログファイルのエラー番号は<BEA-000338>になります。
- D. アプリケーションがデプロイされている管理対象サーバーのヘルスステータスが、サブシステム pooltread により警告状態になりました。
- E. WebLogic管理対象サーバーが再起動されると、Webモジュールは管理者モードになります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 69

サービスレベル移行のために設定できるWebLogic Serverのエンティティはどれですか？ 3つ選択してください。)

- A. JMSサーバー
- B. JOLTサービス
- C. JTAトランザクションリカバリーサービス
- D. ユーザー定義シングルトンサービス
- E. JDBCサービス
- F. JNDIサービス

正解: A,C,D ([コメントを发表する](#))

説明

AC: WebLogic Server移行フレームワークは、JMS関連サービスおよびJTAトランザクションリカバリサービスの手動または自動移行を実行するためのインフラストラクチャと機能を提供します。

D: WebLogic Serverは、ユーザー定義のシングルトンサービスの自動移行をサポートしています。

自動シングルトンサービス移行機能により、シングルトンサービスの自動的な健全性監視と移行が可能になります。シングルトンサービスとは、クラスタ内で動作するサービスのうち、一度に1台のサーバーでのみ利用可能なサービスのことです。

質問: 70

以下の図を確認してください。この図は、以下の内容を示しています。

それぞれがコヒーレンスに含まれる 2 つの WebLogic クラスタで構成される WebLogic ドメイン

・
クラスタ

Coherenceクラスタには、Coherence*Web HTTPセッションストレージの構成が含まれています。

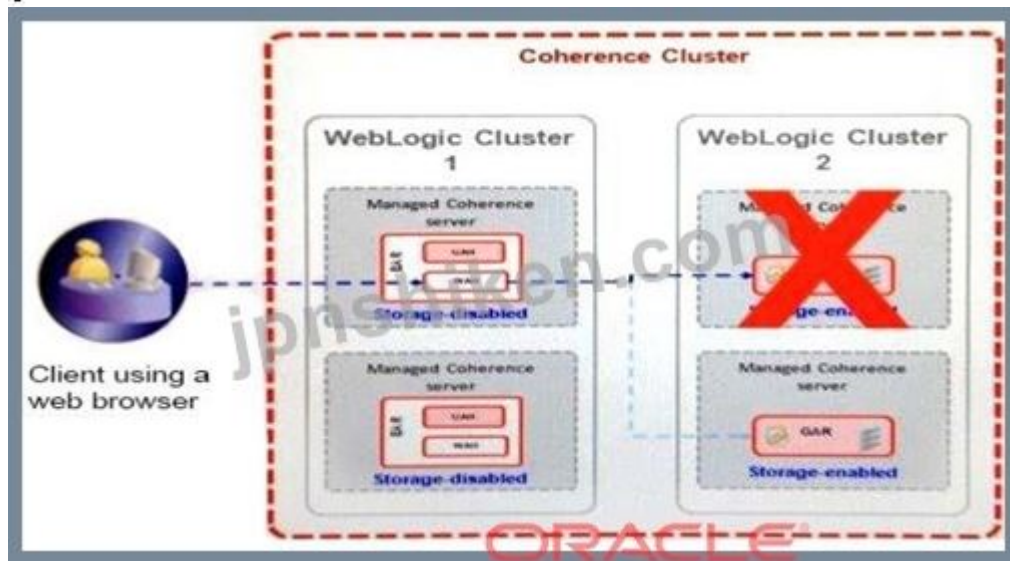
・
クラスター1にデプロイされ、Coherence*Webを使用するように構成されたアプリケーション

・
クライアントは、Webブラウザを使用して (プロキシ経由で) クラスター1上のアプリケーションとやり取りしています。

・

クライアントのHTTPセッションは、右上隅のサーバー上のCoherence*Webに保存されます。

クライアントのHTTPセッションが保存されているサーバーがクラッシュする



HTTP セッション属性に対する次の要求が、ニアキャッシュに保存されていない新しい属性であると仮定すると、クライアントのセッション属性は、クラスタ 2 内の残りのストレージ対応サーバーから取得されます。

なぜセッション属性は他のサーバーのキャッシュから取得されるのですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. Coherence*Webはセッションをバックエンドの分散キャッシュに保存し、パーティションの再バランスが行われた後、リクエストは新しい場所にフェイルオーバーします。
- B. Coherence*Webはセッションをバックエンドの複製キャッシュに保存し、リクエストは自動的に新しい場所にフェイルオーバーします。
- C. Coherence*Webはセッションをバックエンドの共有ディスクキャッシュに保存し、リクエストの負荷分散を自動的行います。
- D. Coherence*Webは、データベースキャッシュローダーによってサポートされるキャッシュにセッションを保存します。データはデータベースから取得され、新しいサーバー上のキャッシュに配置されます。

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

説明／参考資料：

参考資料 https://docs.oracle.com/cd/E15357_01/coh.360/e15829/cweb_wls.htm#COHCW279

質問: 71

JMS診断ログを有効にして、生成されたログエントリを使用してJMSメッセージの配信と確認応答を分析しています。この目的のために、個々のメッセージIDを追跡しています。ログに表示されるメッセージIDのデフォルト形式はどのようなものですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. 16進数（例0xCAE987A401）
- B. 数字（例9018199222001）
- C. 浮動小数点数（例: 10029920902.10111）
- D. ドット2つで区切る（例683871.1122857923566.0）

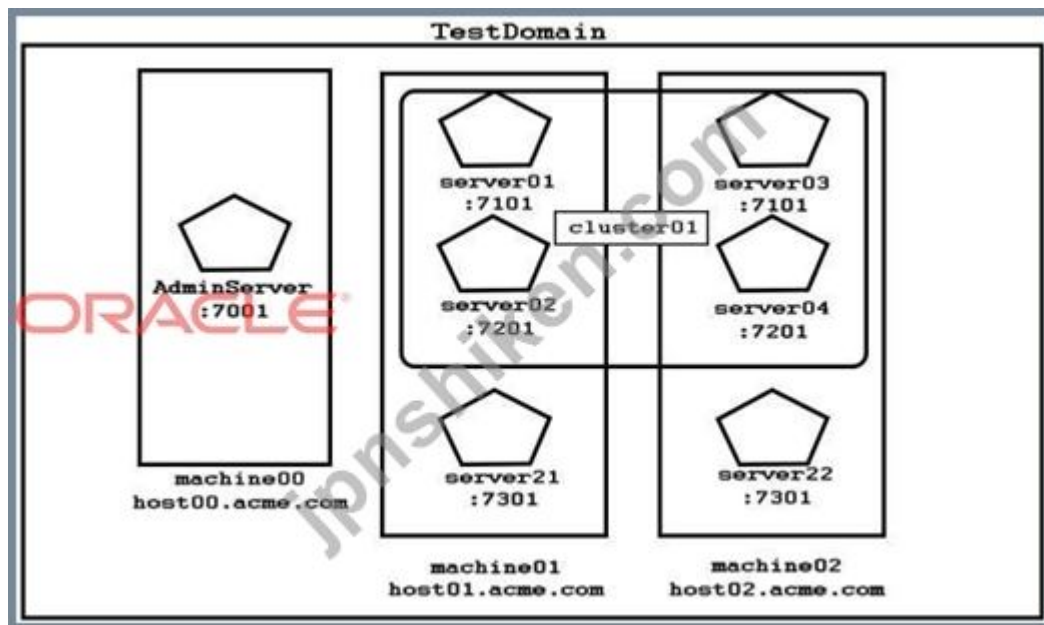
正解: ([正解を表示します](#))

説明

例 <ID:<327315.1116014813453.0>>

質問: 72

ドメイン図を調べてください。



server04の現在利用可能なヒープサイズを表示するWLSTスクリプトを作成するよう求められています。

前提として：

- * すべてのサーバーが稼働中です
 - * オフラインのインタラクティブなWLSTセッションを開始しました
 - * 各マシン上でドメインスコープのノードマネージャが実行されており、ポート5556で待機しています。
 - * ユーザー名/パスワード「weblogic/Welcome1」は、有効なドメイン管理者およびノードマネージャクライアントにマッピングされます。このタスクを実行するコードオプションはどれですか？ 2つ選択してください。）
- connect('weblogic','Welcome1','host00.acme.com:7001')

A. domainRuntime()

x = getMBean('/ServerRuntimes/server04/JVMRuntime/server04')

x.getHeapFreeCurrent() をプリントする

connect('weblogic','Welcome1','host02.acme.com:7201')

B. domainRuntime()

x=getMBean('/ServerRuntimes/server04/JVMRuntime/server04')

x.getHeapFreeCurrent() をプリントする

C. serverRuntime()

x = getMBean('/JVMRuntime/server04')

x.getHeapFreeCurrent() をプリントする

nmConnect('weblogic','Welcome1','host02.acme.com:5556')

D. serverRuntime()

x = getMBean('/JVMRuntime/server04')

x.getHeapFreeCurrent() をプリントする

connect('weblogic','Welcome1','host00.acme.com:7001')

E. serverRuntimes()

x=getMBean('/server04/JVMRuntime/server04')

x.getHeapFreeCurrent() をプリントする

nmConnect('weblogic','Welcome1','host00.acme.com:5556')

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 73

あなたは、サービスの中断を最小限に抑えながら、本番環境のドメインを段階的にアップグレードする任務を負っています。ローリングアップデートの特徴はどれですか？（最適な答えを選択してください。）

- A. すべての管理対象サーバーとノードマネージャーをシャットダウンする必要があります。
- B. ローリングアップデート処理中に構成変更を行うことができます。
- C. 自動バックアップは、ローリングアップデートプロセスの一部です。
- D. 管理サーバーをホストしているマシンを最初にアップグレードする必要があります。
- E. 例えば11gから12cへのメジャーアップグレードは、ローリングアップデートで実行できます。

正解: ([正解を表示します](#))

ローリングアップグレードは、メジャー製品バージョン内のアップグレードにのみ適用されます。たとえば、10.0から10.3.1へのアップグレードは可能ですが、9.0から10.0へのアップグレードはできません。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E15523_01/web.11111/e13754/rolling_upgrade.htm#WLUPG272

質問: 74

クラスター全体にわたるエンティティの排他的所有権を確保するために、環境内にリース機能を実装しています。どのタイプのリースでは、ノードマネージャの設定と実行が必要ですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. 高可用性データベースのリース
- B. 高コンセンサスリース
- C. 非データベース合意リース
- D. 高可用性インメモリアリース

正解: ([正解を表示します](#))

移行ベースをコンセンサスリースに設定すると、メンバーサーバーがリース情報をメモリ内に保持するため、リースを使用するために高可用性データベースを用意する必要がなくなります。このバージョンのリースでは、クラスター内のサーバーを制御するためにノードマネージャを使用する必要があります。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs103/cluster/service_migration.html

質問: 75

複数のJMSサーバーを対象としたUniform Distributed Destination (UDD) トピックを定義しました。

UDDについて正しい記述を3つ選びなさい。

- A. UDDはメッセージの順序を保証します。
- B. UDDはJMSの全体的な可用性を向上させます。
- C. 重みベースの負荷分散ポリシーは、事前に割り当てられた重みに基づいてメッセージをサーバーに均等に分散します。
- D. JMS宛先は、クラスター内の各サーバーで実行する必要はありません。
- E. 宛先メンバーを作成または指定する必要はなくなりました。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs103/jms/dds.html

質問: 76

あなたはメッセージが体系的に受信されることを重視しています。そこで、メッセージを最も確実に消費する方法を保証するために、メッセージ駆動型Bean (MDB) を設計しました。

JMSが常にメッセージを再配信するシナリオはどれですか？ 3つ選択してください。）

- A. MDBのonMessage()メソッドがJavaエラーをスローした場合
- B. MDBが参加する取引が最終的に失敗し、ロールバックされた場合
- C. onMessage() メソッドがメッセージの受信を認識できなかった場合
- D. メッセージがトランザクションの一部として送信されていない場合
- E. メッセージが非永続的な場合

正解: ([正解を表示します](#))

説明

MDBプールは各メッセージを少なくとも1回処理します。場合によっては、メッセージが複数回処理されることもあります。

* onMessage() メソッドの実行中または完了後、メッセージが確認またはコミットされる前に、アプリケーションが失敗した場合、トランザクションがロールバックされた場合、またはホスティングサーバーインスタンスが失敗した場合、メッセージは再配信され、再度処理されます。

* 非永続メッセージも、障害発生時には再配信されます。ただし、メッセージのホストである JMS サーバーがシャットダウンまたはクラッシュした場合は、メッセージは破棄されます。

メッセージが確実に一度だけ処理されるようにするには、コンテナ管理トランザクションを使用します。これにより、障害が発生した場合にトランザクションMDBの処理がロールバックされ、メッセージが強制的に再配信されます。

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、30%ディスカウント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 77

クライアントは、さまざまなJMSトピックに送信されたメッセージを受信するために、分散された宛先に接続されます。

最近、ネットワーク障害によりJMS接続が中断され、クライアント側でも接続が切断されました。

分散型宛先に障害が発生した場合に、クライアントへのシームレスなフェイルオーバーをどのように保証しますか？（最適な回答を選択してください。）

- A. クラスタレベルでフェイルオーバーが適切に処理されている場合、クライアントレベルでの対応は必要ありません。
- B. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、lientReconnectOptions パラメータを Automatic に設定します。
- C. クライアント例外ハンドラに自動再接続メカニズムを実装します。
- D. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、AutomaticClientReconnect を有効に設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

障害が発生した分散宛先に接続しているクライアントをフェイルオーバーする簡単な方法は、onException をキャッチした後に分散宛先に接続する再接続ロジックをクライアントコードに記述することです。

参考文献：

質問: 78

JMSキューに入力されたメッセージの一部が期限切れとなり、キューから削除されています。これらの期限切れメッセージについて、より詳細な情報が必要です。

この実現に役立つメカニズムはどれですか？（最適なものを選んでください。）

- A. キューの 期限切れメッセージをログに記録する」属性をtrueに設定します。
- B. キューに ExpirationEventHandler オブジェクトを関連付けます。

C. JMSキューのメッセージライフサイクルログを有効にします。

D. 期限切れメッセージのプロパティをログに記録する JMS キューの有効期限イベントハンドラを設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

有効期限ポリシーのログオプションは、期限切れのメッセージをシステムから削除し、メッセージがシステムから削除されたことを示すエントリをサーバーログファイルに書き込みます。実際にログに記録される情報は、有効期限ログポリシーによって定義されます。

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs81/ConsoleHelp/domain_jmsqueue_config_expiration-policy.html

質問: 79

JMS関連サービスの手動移行の一環として、カスタムファイルストアを設定し、JMSサーバーと同じ移行対象に指定しました。

このJMSストアの正常な構成と手動移行に関連する記述は次のうちどれですか？

(2つ選択してください。)

A. カスタムストアは、移行前/移行後スクリプトを使用してバックアップサーバーのターゲットに提供できます。

B. カスタムストアは、移行可能なサービスと同じ移行可能なターゲットを対象としてはいけません。

C. 移行対象内のすべての候補サーバーは、このカスタムストアにアクセスする必要があります。

D. デフォルトのファイルストアを使用している JMS サーバーは、移行可能なターゲットに移行する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

永続メッセージングの場合、JMSサービスと同じ移行対象をターゲットとするカスタム永続ストアを構成する必要があります。移行前後のスクリプトを使用してストアデータを移行対象サーバー間で移動しない限り、カスタムストアは、移行対象内のすべての候補サーバーがアクセスできるように構成する必要があります。

参照: http://docs.oracle.com/cd/E21764_01/apirefs.1111/e13952/taskhelp/jms_servers/MigrateJMSServer.html

質問: 80

WebLogic Server (WLS) の実行スレッドを監視するスクリプトを作成しました。

```
#!/bin/bash

jstack $1 > stack.txt
rm ExecuteThread.log

while read line
do
    echo $line | grep "^\s* ExecuteThread:" >> ExecuteThread.log
done < stack.txt
rm stack.txt
```

ExecuteThread.log ファイルに以下のメッセージが記録されています。

```
"[xxxx] ExecuteThread: '0' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' " daemon
prio=10 tid=0x00007fa4404bf000 nid=0xde5 waiting on condition [0x00007fa4583c7000]
```

デフォルト設定を前提として、スレッドが20分間リクエストを実行した場合、xxxxの値は何ですか？

A. SRANDBY

B. アクティブ

C. 行き詰まった

D. ランニング

E. 待機中

F. 管理者

G. 失敗

正解: ([正解を表示します](#))

このスレッドは、MaxStuckThreadTime (デフォルトでは600秒)で定義された時間を超えて実行されているため、WebLogicによってスタック状態とみなされます。WebLogic Serverは、この時間が経過してもスレッドがまだ動作している場合、スレッドをスタック状態としてマークする前に、この時間に達するまで待機します。

例: [STUCK] ExecuteThread: '2' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' id=73 idx=0x128 nid=13410 prio=1 alive, in native, daemon 参照:

質問: 81

あなたは、信頼できるバウチャーから取得したSAMLトークンを使用して、WebLogicドメインの仮想クライアントにシングルサインオンを提供するアプリケーションを管理しています。あなたのドメインは、この認証を管理するためにIDアサーションプロバイダを使用しています。

クライアントの認証に失敗しています。クライアントの戻りコードやサーバーのログファイルには、問題の原因を特定するために役立つ情報は含まれていません。

問題を特定するために、どのようなことをしますか？

- A. SAMLとプロバイダのデバッグを設定し、テストクライアントリクエストを実行して、サーバーログを分析してエラーを探します。
- B. セキュリティ上の理由から、サーバーは詳細な情報を提供しないため、ネットワークパケットを検査してトークンデータを調べます。
- C. セキュリティデバッグログを設定し、テストクライアントリクエストを実行して、ログを分析してエラーを検出します。
- D. SAML IDアサータープロバイダーの順序を変更して、問題が仮想ユーザーに関連しているかどうかを判断します。

正解: ([正解を表示します](#))

WebLogic Server を起動するコマンドにオプションとして渡すことで、デバッグ スコープまたは属性を有効にできます。SAML デバッグは、コマンドライン オプションを使用するか、WebLogic Server 管理コンソールを使用して構成できます。

参考資料 :https://docs.oracle.com/middleware/1213/wls/SECMG/saml_debug.htm#SECMG531

質問: 82

JMSモジュールのセキュリティポリシーを設定しています。モジュールのセキュリティ条件をいくつか指定しています。

この状況において有効なセキュリティ条件はどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. JMSモジュールは午後1時から午後6時までの間のみアクセスできます。
- B. JMSモジュールは、不正アクセス時にカスタムセキュリティ例外をスローする必要があります。
- C. JMSモジュールは一度に50個のメッセージしか処理できません。
- D. JMSモジュールには、オペレーターグループに属するユーザーのみがアクセスできます。
- E. JMSモジュールは受信専用モードでアクセスできます。

正解: ([正解を表示します](#))

セキュリティ条件は2つあります。

* 時間的制約あり

* グループ別またはユーザー別

参考文献 :

質問: 83

WLSTのcreateコマンドに関して、正しい記述を3つ選びなさい。 3つ選択してください。）

- A. WLSTオンライン環境でcreateコマンドを使用する場合、接続先は管理サーバーである必要があります。
- B. 作成される MBean のタイプは、現在の管理オブジェクトの子タイプである必要があります。
- C. create ステートメントの必須パラメータの正しい順序は、名前の後に childMBeanType が続きます。
- D. create コマンドは、構成またはランタイム管理 Bean を作成するために使用されます。

E. create コマンドはWLSTProgress オブジェクトを返します。

正解: ([正解を表示します](#))

A: WLST オンラインで create コマンドを使用する場合は、管理サーバーに接続している必要があります。

B: 子型は、親型のインスタンスの下に作成する必要があります。

C: 構文: create(name, childMBeanType, [baseProviderType])

Create コマンドは、現在の Bean に対して、指定されたタイプの構成 Bean を作成します。

参考文献 :

質問: 84

私の JMS サーバーは永続ファイルストアを使用しています。永続ストアのサイズが 1GB を超えないようにする必要があります。

この設定を行うには、どのオプションを使用すればよいですか？（最適な回答を選択してください。）

A. weblogic.store.FileSize を 1GB に設定します。

B. weblogic.store.MaxFileSize を 1GB に設定します。

C. weblogic.store.TotalFileSize を 1GB に設定します。

D. ファイルサイズ制限はオペレーティングシステムレベルで設定する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: http://docs.oracle.com/cd/E14571_01/web.1111/e13814/storetune.htm#CACGJAHl

質問: 85

貴社の開発チームは、いくつかの異なるタイプの新規アプリケーションを検討しています。WebLogic Server のプロダクション再デプロイ機能を利用してデプロイできるアプリケーションの種類について、貴社に助言を求められました。

本番環境への再デプロイでサポートされていないアプリケーションデプロイタイプはどれですか？（最適な回答を選択してください。）

A. Coherence Grid Archive (GAR) モジュールを含むエンタープライズアプリケーション (EAR)

B. 会話型または信頼性の高いメッセージングを使用する Web サービスアプリケーション

C. スタンドアロンのエンタープライズ Java Bean (EJB) アプリケーション

D. 受信 JMS メッセージによってアクセスされるエンタープライズアプリケーション (EAR)

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料 :

誤った回答 :

B : 本番環境への再デプロイは、HTTP クライアントと RMI クライアントのみをサポートします。

C、D : エンタープライズアプリケーションには、サポートされている Java EE モジュールタイプをすべて含めることができます。また、アプリケーションスコープの JMS モジュールと JDBC モジュールを含めることもできます。

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs100/programming/versioning.html

質問: 86

クライアントは、さまざまな JMS トピックに送信されたメッセージを受信するために、分散された宛先に接続されます。

最近、ネットワーク障害により JMS 接続が中断され、クライアント側でも接続が切断されました。

分散型宛先に障害が発生した場合に、クライアントへのシームレスなフェイルオーバーをどのように保証しますか？（最適な回答を選択してください。）

A. クラスタレベルでフェイルオーバーが適切に処理されている場合、クライアントレベルでの対応は必要ありません。

B. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、clientReconnectOptions パラメーターを Automatic に設定します。

- C. クライアント例外ハンドラに自動再接続メカニズムを実装します。
- D. 管理コンソールの宛先構成一般ページで、AutomaticClientReconnect を有効にします。

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

障害が発生した分散宛先に接続しているクライアントをフェイルオーバーする簡単な方法は、onException をキャッチした後に分散宛先に接続する再接続ロジックをクライアントコードに記述することです。

参照 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs90/jms/dds.html

質問: 87

貴社の開発チームは、いくつかの異なるタイプの新規アプリケーションを検討しています。WebLogic Serverのプロダクション再デプロイ機能を利用してデプロイできるアプリケーションの種類について、貴社に助言を求められました。

本番環境への再デプロイでサポートされていないアプリケーションデプロイタイプはどれですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. Coherence Grid Archive (GAR) モジュールを含むエンタープライズアプリケーション (EAR)
- B. 会話型または信頼性の高いメッセージングを使用するWebサービスアプリケーション
- C. スタンドアロンのエンタープライズJava Bean (EJB) アプリケーション
- D. 受信JMSメッセージによってアクセスされるエンタープライズアプリケーション (EAR)

正解: ([正解を表示します](#))

誤った回答：

B：本番環境への再デプロイは、HTTPクライアントとRMIクライアントのみをサポートします。

C、D：エンタープライズアプリケーションには、サポートされているJava EEモジュールタイプをすべて含めることができます。また、アプリケーションスコープのJMSモジュールとJDBCモジュールを含めることもできます。

参照 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs100/programming/versioning.html

質問: 88

あなたはメッセージが体系的に受信されることを重視しています。そこで、メッセージを最も確実に消費する方法を保証するために、メッセージ駆動型Bean (MDB) を設計しました。

JMSが常にメッセージを再配信するシナリオはどれですか？ 3つ選択してください。）

- A. MDBのonMessage()メソッドがJavaエラーをスローした場合
- B. MDBが参加する取引が最終的に失敗し、ロールバックされた場合
- C. onMessage() メソッドがメッセージの受信を認識できなかった場合
- D. メッセージがトランザクションの一部として送信されていない場合
- E. メッセージが非永続的な場合

正解: B,C,D ([コメントを發表する](#))

MDBプールは各メッセージを少なくとも1回処理します。場合によっては、メッセージが複数回処理されることもあります。

* onMessage() メソッドの実行中または完了後、メッセージが確認またはコミットされる前に、アプリケーションが失敗した場合、トランザクションがロールバックされた場合、またはホスティングサーバーインスタンスが失敗した場合、メッセージは再配信され、再度処理されます。

* 非永続メッセージも、障害発生時には再配信されます。ただし、メッセージのホストである JMS サーバーがシャットダウンまたはクラッシュした場合は、メッセージは破棄されます。

メッセージが確実に一度だけ処理されるようにするには、コンテナ管理トランザクションを使用します。これにより、障害が発生した場合にトランザクションMDBの処理がロールバックされ、メッセージが強制的に再配信されます。

質問: 89

あなたはメッセージが体系的に受信されることを重視しています。そこで、メッセージを最も確実に消費する方法を保証するために、メッセージ駆動型Bean (MDB)を設計しました。

JMSが常にメッセージを再配信するシナリオはどれですか？ 3つ選択してください。)

- A. MDBのonMessage()メソッドがJavaエラーをスローした場合
- B. MDBが参加する取引が最終的に失敗し、ロールバックされた場合
- C. onMessage()メソッドがメッセージの受信を認識できなかった場合
- D. メッセージがトランザクションの一部として送信されていない場合
- E. メッセージが非永続的な場合

正解: ([正解を表示します](#))

説明／参考資料：

MDBプールは各メッセージを少なくとも1回処理します。場合によっては、メッセージが複数回処理されることもあります。

* onMessage() メソッドの実行中または完了後、メッセージが確認またはコミットされる前に、アプリケーションが失敗した場合、トランザクションがロールバックされた場合、またはホスティングサーバーインスタンスが失敗した場合、メッセージは再配信され、再度処理されます。

* 非永続メッセージも、障害発生時には再配信されます。ただし、メッセージのホストである JMS サーバーがシャットダウンまたはクラッシュした場合は、メッセージは破棄されます。

メッセージが確実に一度だけ処理されるようにするには、コンテナ管理トランザクションを使用します。これにより、障害が発生した場合にトランザクションMDBの処理がロールバックされ、メッセージが強制的に再配信されます。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs81/ejb/message_beans.html

質問: 90

自動移行シナリオのうち、移行可能なすべてのサービスに対してノードマネージャを必要とするシナリオはどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. コンセンサスリース
- B. 移行前後のスクリプトなしのデータベースリース
- C. 移行前後のスクリプトを含むデータベースリース
- D. 同期リース

正解: ([正解を表示します](#))

自動サービス移行を使用する場合、ノードマネージャは、関係するメンバサーバーに関するヘルスマonitoring情報を以下のように取得する必要があります。

* コンセンサスリース - クラスター内の管理対象サーバーをホストするすべてのマシンでノードマネージャが実行されている必要があります。

* データベースリース - ノードマネージャは、クラスター内の管理対象サーバーをホストするすべてのマシンで、移行前/移行後スクリプトが定義されている場合にのみ実行する必要があります。移行前/移行後スクリプトが定義されていない場合は、ノードマネージャは不要です。

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs103/cluster/service_migration.html

質問: 91

管理サーバーはWebLogicドメインの主要コンポーネントです。ドメイン内のメイン管理サーバーがクラッシュした場合に備えて、スタンバイ管理サーバーを用意する必要があります。

この作業を行う上で、どのユーティリティが役立ちますか？ (最適なものを選んでください。)

- A. 設定ウィザード
- B. ドメインテンプレートビルダー

C. 梱包／開梱

D. エンタープライズマネージャー

正解: D ([コメントを発表する](#))

説明／参考資料：

参考資料 http://docs.oracle.com/cd/E24628_01/install.121/e24089/

[appdx_standby_oms.htm#EMADV13364](#)

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu> **127問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 92

JMSファイルストアを構成する際に、最高のパフォーマンスを確保するために留意すべき3つの事項は何ですか？ 3つ選択してください。）

A. ローカルディスクをリモートマウントされたディスクよりも優先します。

B. メッセージがなくなったらファイルストアを圧縮します。

C. キャッシュフラッシュ同期書き込みポリシーを選択します。

D. すべてのファイルストア用に1つのディスクを割り当てます。

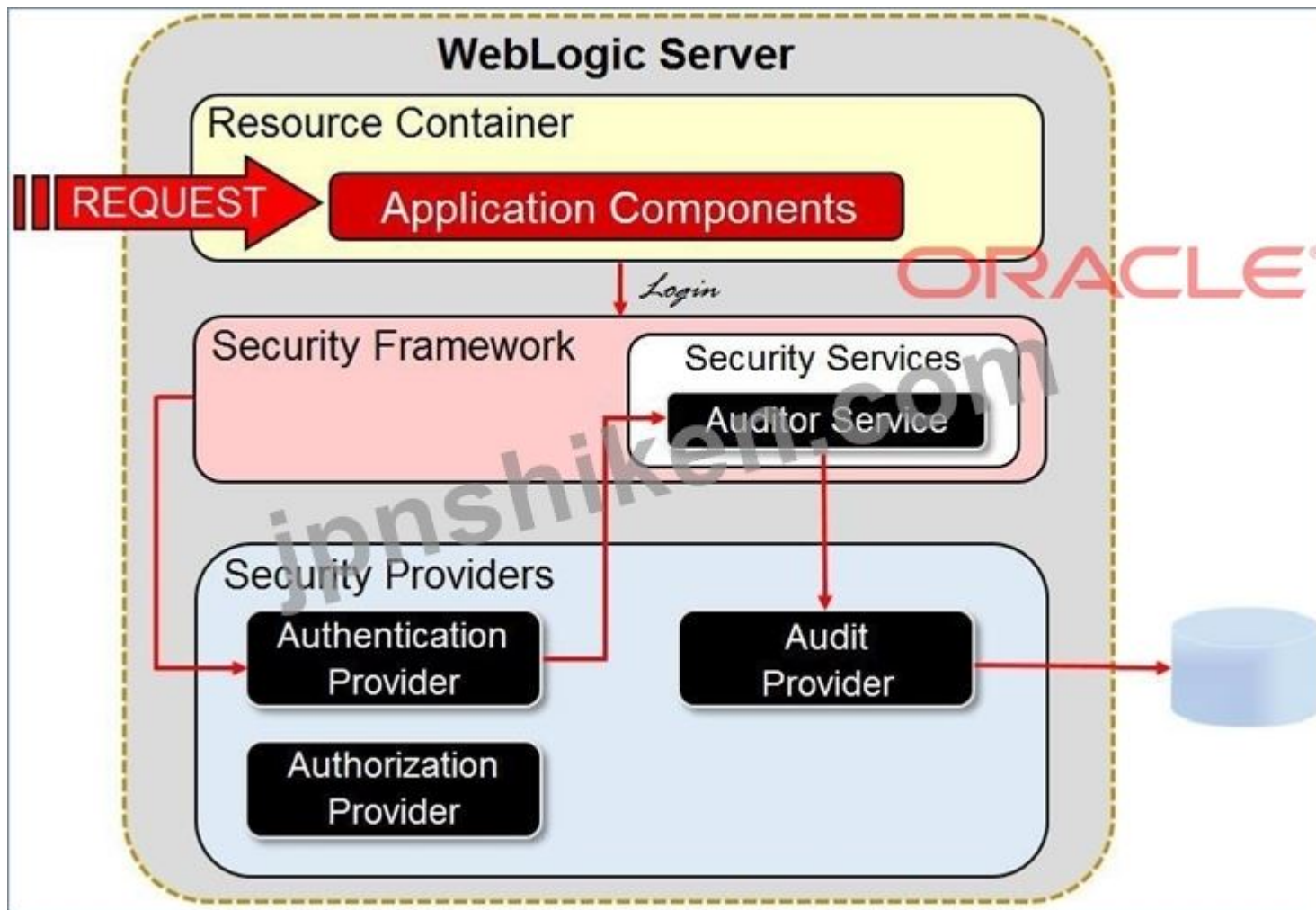
E. JMS宛先でMessagesMaximumを設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: <https://docs.oracle.com/middleware/1212/wls/PERFM/storetune.htm#PERFM231>

質問: 93

下の図をご覧ください。これは、WebLogic Serverの監査アーキテクチャを示しています。



WebLogicのアーキテクチャにおいて、監査メッセージがログに記録されるかどうかを決定する監査構成パラメータは、どの部分で適用されますか？（最適な回答を選択してください。）

- A. 監査プロバイダー
- B. 認証プロバイダー
- C. 認証プロバイダー
- D. 監査サービス

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 94

グループと役割の2つの違いは何ですか？ 2つ選択してください。）

- A. グループは静的であり、役割は動的かつ条件付きです。
- B. 役割はアプリケーションごとにスコープ設定できますが、グループはグローバルのみです。
- C. 役割は静的であり、グループは動的かつ条件付きです。
- D. グループはアプリケーションにスコープを設定できますが、ロールはグローバルのみです。
- E. グループは役割を含むことができますが、役割はグループを含むことができません。

正解: A,B ([コメントを发表する](#))

セキュリティロールとは、特定の条件に基づいてユーザーまたはグループに付与される権限です。グループと同様に、セキュリティロールを使用すると、複数のユーザーに対して一度にWebLogicリソースへのアクセスを制限できます。セキュリティロールとグループの違いは以下のとおりです。

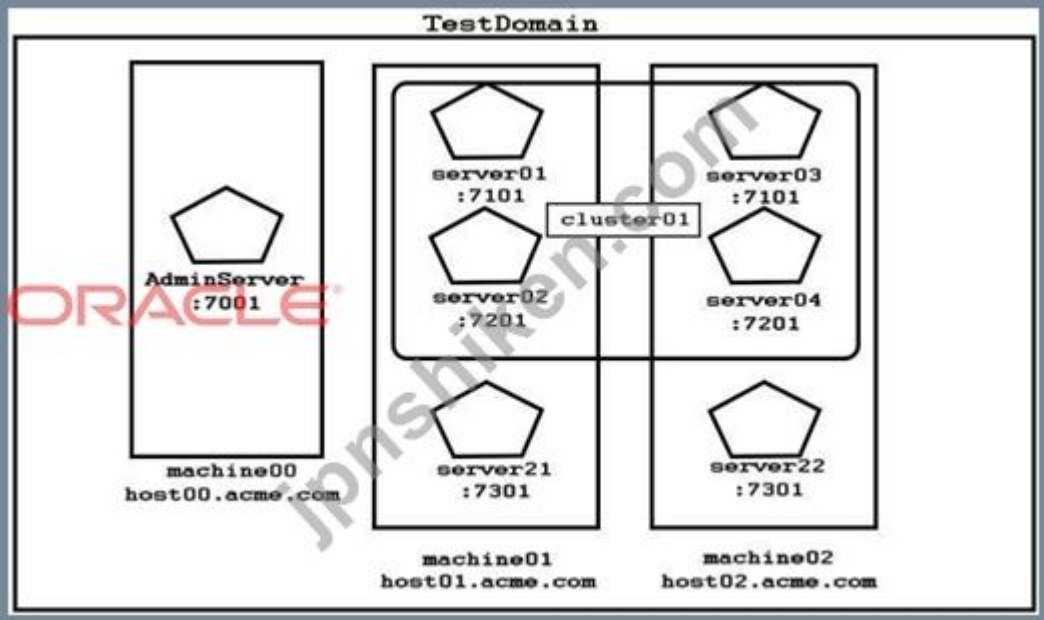
* セキュリティロールは、ユーザー名、グループメンバーシップ、時間帯などの条件に基づいて、ユーザーまたはグループに動的に計算され、付与されます。グループは静的です。

* セキュリティロールは、WebLogic Serverドメイン内の単一アプリケーション内の特定のWebLogicリソースにスコープを設定できます（グループとは異なり、グループは常にWebLogic Serverドメイン全体にスコープされます）。

参照 https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs81/secwlrres/secroles.html

質問: 95

ドメイン図を調べてください。



server04のログローテーションパラメータを含むMBeanへの、構成階層内の正しいパスはどれですか？（最適な回答を選択してください。）

- A. /Cluster01/server04/log
- B. /server04/log
- C. /TestDomain/server04/log
- D. /Machine02/server04/log
- E. /Logs/server04
- F. /Servers/server04/Log/server04
- G. /server04/log/rotation

正解: F (コメントを发表する)

質問: 96

下記のデジタル証明書をご確認ください。

Certificate:

Data:

```
Version: 3 (0x2)
Serial Number: 660557372 (0x275f4e3c)
Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
Issuer: CN = wls-sysadm
Validity
  Not Before: Feb 20 13:35:19 2013 GMT
  Not After : Feb 20 13:35:19 2014 GMT
Subject: CN=wls-sysadm
Subject Public Key Info:
  Public Key Algorithm: rsaEncryption
  Public-Key: (512 bit)
  Modulus:
    00:df:cc:8a:fe:91:50:6d:80:56:7d:f1:d0:d4:f1:
    c6:e3:f3:6f:cc:22:39:2d:ef:ac:7c:6c:4b:56:81:
    1c:de:d0:7d:ad:ea:47:63:98:15:74:37:66:dd:a1:
    64:09:2e:56:ba:65:c1:b8:15:55:ac:b5:09:fe:d6:
    32:0f:0c:7f:ff
  Exponent: 65537 (0x10001)
X509v3 extensions:
  X509v3 Subject Key Identifier:
    EA:4C:C3:08:B4:60:6A:B6:99:B4:15:70:E9:24:F2:18:97:46:E9:07
Signature Algorithm: md5WithRSAEncryption
3b:2f:0d:90:bb:82:dc:16:f2:8f:00:c3:40:d8:a5:3f:4b:39:
8f:52:27:b1:4d:e1:f4:85:f5:29:c8:ef:b4:99:06:ee:cd:96:
5c:6d:c8:a2:7b:1e:61:03:a1:c0:60:c8:90:b3:f9:ff:bf:82:
49:37:53:08:dd:c9:5f:ec:0b:a9
```

証明書の内容に基づくと、次のうち正しい記述はどれですか？（最も適切な答えを選択してください。）

- A. これは認証チェーンのない自己署名デジタル証明書です。
- B. 有効な認証チェーンを持つ、本物のデジタル証明書です。
- C. 有効な認証チェーンを持つ秘密鍵のデジタル証明書です。
- D. 有効な認証チェーンを持つ、正規のルートCA証明書です。

正解: ([正解を表示します](#))

誤った回答:

C: これは512ビットの公開鍵であり、秘密鍵ではありません。

注 :サブジェクトキー識別子拡張機能は、特定の公開鍵を含む証明書を識別する手段を提供します。

質問: 97

管理対象のWebLogicマネージドサーバーには、以下のログがあります。

```
<Jul 22, 2014 3:05:35 PM CEST> <Error> <WebLogicServer> <BEA-000337> <[STUCK]
ExecuteThread: '17' for queue: 'weblogic.kernel.Default (self-tuning)' has been busy
for "86" seconds working on the request "Workmanager: MyWorkManager, Version: 0,
Scheduled=true, Started=true, Started time: 86409 ms
", which is more than the configured time (StuckThreadMaxTime) of "2" seconds in
"work-manager-shutdown-trigger".
```

調査の結果、MyAppという名前のWebモジュールが見つかり、そのデプロイメント記述子weblogic.xmlは以下のとおりです。

```

<wl-dispatch-policy>MyWorkManager</wl-dispatch-policy>
<work-manager>
  <name>MyWorkManager</name>
  <work-manager-shutdown-trigger>
    <max-stuck-thread-time>2</max-stuck-thread-time>
    <stuck-thread-count>10</stuck-thread-count>
  </work-manager-shutdown-trigger>
</work-manager>
</weblogic-web-app>

```

ORACLE®

正しいのはどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. WebモジュールMyAppnowへのアクセスでHTTPエラー: 503 サービスが利用できません。
- B. WebLogic Server がスタックしたスレッドを自動的に停止するため、ExecuteThread: '17' が使用可能になりました。
- C. WebLogic管理対象サーバーが再起動されると、Webモジュールは管理者モードになります。
- D. 他のスレッドがスタックした場合、WebLogicログファイルにエラー番号<BEA-000338>が表示されます。
- E. アプリケーションがデプロイされている管理対象サーバーのヘルスステータスが、サブシステム pooltread により警告状態になりました。

正解: B,D ([コメントを发表する](#))

説明

質問: 98

クラスター内の異常なサーバーから別のターゲットへ、ピン留めされたサービスを自動的に移行するように設定したいと考えています。そのために、コンセンサスリースを設定したいです。

この状況において正しい記述はどれですか？ 2つ選択してください。）

- A. クラスターの「移行基準」ポリシーをコンセンサスに設定します。
- B. 移行可能なサーバーはノードマネージャーに関連付けられている必要があります。
- C. サーバーの「移行基準」ポリシーをコンセンサスに設定します。
- D. コンセンサスリース情報を管理するために、高可用性データベースを構成する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

A: 自動移行オプションを使用するには、クラスターの移行基準ポリシーをデータベースリースまたはコンセンサスリースのいずれかに設定する必要があります。

C: 移行ベースをコンセンサスリースに設定すると、メンバーサーバーがリース情報をメモリ内に保持するため、リースを使用するために高可用性データベースを用意する必要がなくなります。このバージョンのリースでは、クラスター内のサーバーを制御するためにノードマネージャを使用する必要があります。

参考文献:

質問: 99

JTAサービスの移行に関して、正しい記述はどれですか？（最適なものを選んでください。）

- A. TLOG ファイルは、移行対象サーバーのみがアクセスできるリモートファイルシステムに保存する必要があります。
- B. TLOG ファイルは、移行元と管理サーバーからアクセス可能な共有ストレージに保存する必要があります。
- C. TLOG ファイルは、移行元サーバーのローカルファイルシステムに保存する必要があります。
- D. TLOG ファイルは、移行元サーバーのみがアクセスできるリモートファイルシステムに保存する必要があります。

E. TLOG ファイルは、移行元サーバーと移行先サーバーからアクセス可能な共有ストレージに保存する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料: https://docs.oracle.com/cd/E15523_01/web.1111/e13709/service_migration.htm#CLUST327

質問: 100

Webモジュールには特定の調整が必要です。開発チームは、デプロイメント記述子 (weblogic.xml) でモジュールを次のように微調整します。

```
<weblogic xmlns="http://xmlns.oracle.com/weblogic"
  xmlns:j2ee="http://java.sun.com/xml/ns/j2ee"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://xmlns.oracle.com/weblogic
http://xmlns.oracle.com/weblogic/1.0/weblogic.xsd">

  <work-manager>
    <name>MyWorkManager</name>
    <max-threads-constraint>
      <name>MaxThreads</name>
      <count>30</count>
    </max-threads-constraint>
  </work-manager>
</weblogic>
```

正しいのはどれですか？ 2つ選択してください。)

A. MyWorkManagerはアプリケーションスコープのワークマネージャーです。

B. WebモジュールがワークマネージャーMyWorkManagerを使用するには、weblogic.xmlの<work-manager>タグの前に<wl-dispatch-policy>MyWorkManager</wl-dispatch-policy>という行を追加します。

C. MyWorkManagerはグローバルワークマネージャーです。

D. MyWorkManager はデフォルトのワークマネージャーです。

E. アプリケーションがマネージド WebLogic Server にデプロイされ、起動されると、WebLogic コンソールの [環境] / [ワークマネージャ] の下に MyWorkManager が表示されます。

正解: ([正解を表示します](#))

説明

A: 特定のアプリケーションまたはモジュールでのみ使用可能なワークマネージャを作成できます。アプリケーションスコープのワークマネージャは、WebLogic Server管理コンソールおよび以下の記述子で定義できます。

weblogic-application.xml

weblogic-ejb-jar.xml

weblogic.xml

B: メソッドは、デプロイメント記述子の <dispatch-policy> 要素を使用して、ワークマネージャに割り当てられます。

質問: 101

お客様のドメインで断続的な問題が発生しており、お客様ご自身では解決できない状況です。問題解決のため、Oracleサポートにケースを起票されました。サポートエンジニアは、WebLogic診断フレームワーク (WLDF) を使用してWebLogic Server環境の全体像を把握し、問題の原因を特定のサブシステムに絞り込むことを検討しています。

サポートエンジニアはあなたにどのようなWLDFデータを要求しますか？ (最適な回答を選択してください。)

- A. 診断画像スナップショット
- B. JVMのJavaフライトレコーディング
- C. 計測ログ
- D. 収集された特定の指標

正解: A ([コメントを发表する](#))

診断イメージキャプチャは、問題診断に使用される主要なサーバー状態の最も一般的なソースを収集します。そして、その状態を診断イメージという単一の成果物にパッケージ化します。

参考資料 <https://docs.oracle.com/middleware/1212/core/ASADM/diagnostics.htm#ASADM11145>

質問: 102

拡張性と高可用性を向上させるために、JMS分散宛先を使用したWebLogicクラスタリングを構成します。
どの推奨事項がメッセージ処理の最適な負荷分散を保証するでしょうか？

- A. クラスタをホストするマシンは、処理能力、ディスク容量、メモリが同程度である必要があります。
- B. クラスタには、少なくとも1つの設定可能なサーバーを含める必要があります。
- C. クラスタはユニキャスト通信を使用する必要があります。
- D. クラスタ内のすべてのサーバーは、同じ WebLogic マシンに割り当てられる必要があります。

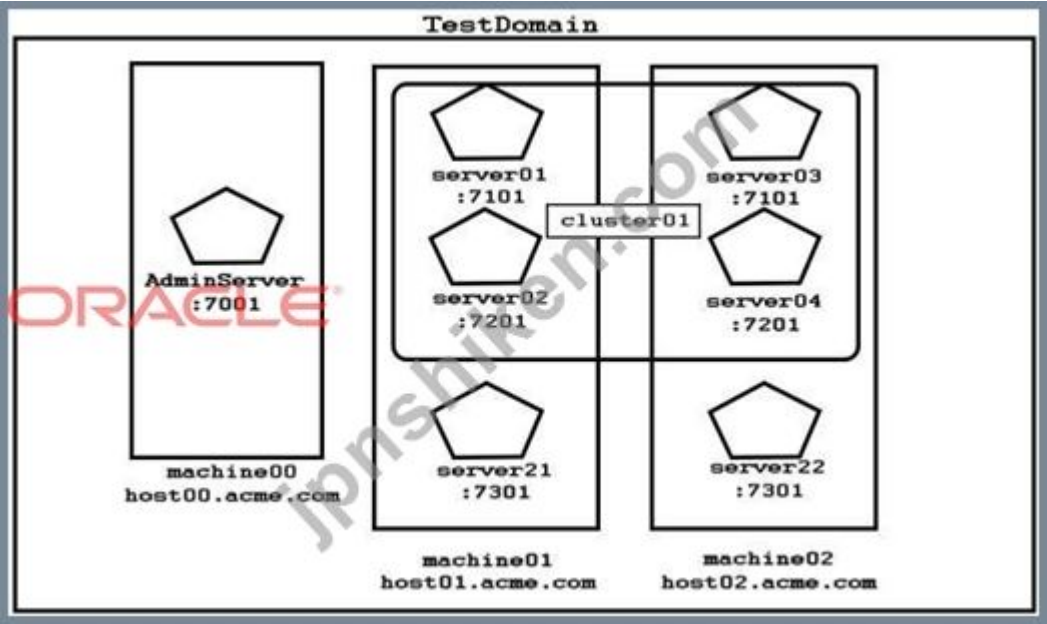
正解: ([正解を表示します](#))

説明

加重分散宛先と比較して、均一分散宛先 (UDD) は、分散宛先アプリケーションの管理と開発を大幅に簡素化します。均一分散宛先を使用すると、宛先メンバーを作成または指定する必要がなくなり、代わりにWebLogic ServerがJMSモジュールのターゲットとなるJMSサーバー上に必要なメンバーを均一に作成します。この機能により、特に加重、セキュリティ、永続性、ページング、およびクォータに関して、すべての分散宛先パラメータの一貫した構成が保証されます。

質問: 103

ドメイン図を調べてください。



すべてのサーバーが稼働しており、オフラインのWLST対話型セッションを開始したばかりであると仮定します。さらに、ユーザー名/パスワード 'weblogic/Welcome1」が有効な管理者アカウントに紐づいていると仮定します。

WLSTコードを2行入力します。

connect('weblogic','Welcome1','host02.acme.com:7101')
cmo.getType() + ':' + cmo.getName() をプリントします。
何が印刷されますか？（最適な答えを選んでください。）

- A. ドメイン:テストドメイン
- B. ドメインランタイム: server03
- C. サーバー:server03
- D. マシン:マシン02
- E. セッション:weblogic

正解: (正解を表示します)

例：次の例は、現在の MBean である cmo に関する情報を表示します。

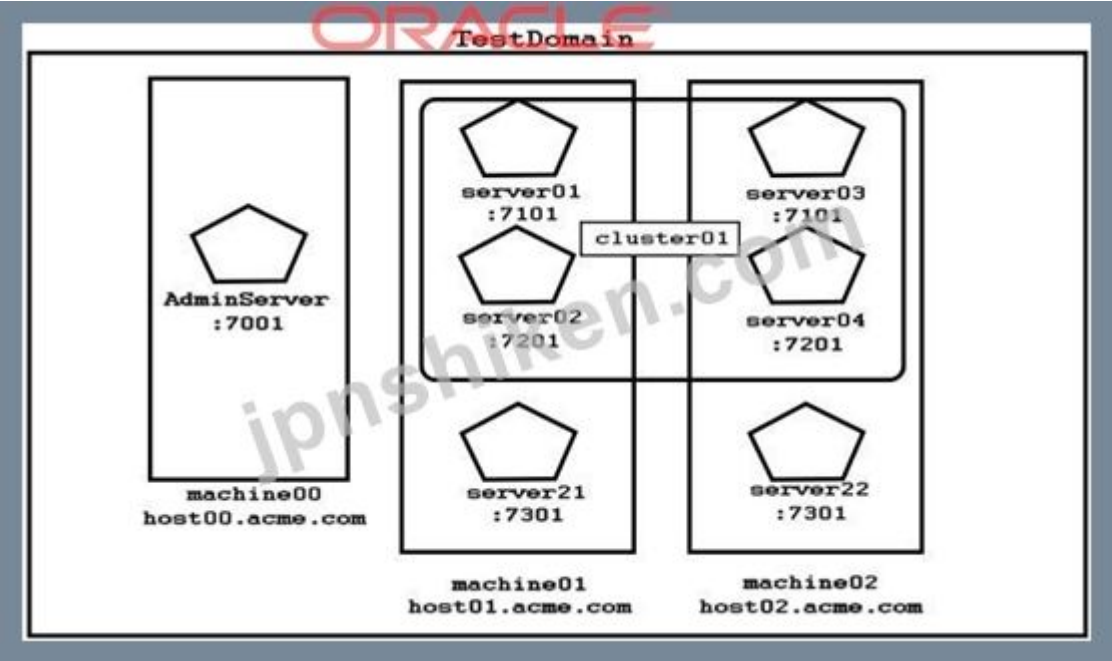
wls:/mydomain/serverConfig> cmo.getType()

'ドメイン'

参考資料 :https://docs.oracle.com/cd/E13222_01/wls/docs92/config_scripting/reference.html

質問: 104

ドメイン図を調べてください。



すべてのサーバーが稼働しており、オフラインのWLST対話型セッションを開始したばかりであると仮定します。さらに、ユーザー名/パスワード 'weblogic/Welcome1' が有効な管理者アカウントに紐づいていると仮定します。

WLSTコードを2行入力します。

connect('weblogic','Welcome1','host02.acme.com:7101')
cmo.getType() + ':' + cmo.getName() をプリントします。
何が印刷されますか？（最適な答えを選んでください。）

- A. ドメイン:テストドメイン
- B. ドメインランタイム: server03
- C. サーバー:server03
- D. マシン:マシン02

E. セッション:weblogic

正解: ([正解を表示します](#))

説明

例：次の例は、現在の MBean である cmo に関する情報を表示します。

```
wls:/mydomain/serverConfig> cmo.getType()
```

'ドメイン'

質問: 105

あなたは、JMSトランザクションを使用して、送受信されるメッセージを最小単位として扱い、メッセージの生成と消費を調整するアプリケーションを設計しています。

JMSでトランザクションを使用する2つの方法は何ですか？ 2つ選択してください。）

A. トランザクションで JMS のみを使用する場合は、JMS トランザクション セッションを作成します。

B. メッセージの確認応答に関して、さまざまなレベルの制御を設定できます。

C. コンシューマーが非耐久性の場合は、メッセージ駆動型Beanを使用します。

D. トランザクションのない JMS セッションで JTA ユーザー トランザクションを使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

説明/参考資料 <https://docs.oracle.com/middleware/1212/wls/JMSPG/trans.htm#JMSPG453>

質問: 106

JMS関連サービスの手動移行の一環として、カスタムファイルストアを設定し、JMSサーバーと同じ移行対象に指定しました。

このJMSストアの正常な構成と手動移行に関連する記述はどれですか？ 2つ選択してください。）

A. カスタムストアは、移行前/移行後のスクリプトを使用してバックアップサーバーのターゲットに提供できます。

B. カスタムストアは、移行可能なサービスと同じ移行可能なターゲットを対象としてはいけません。

C. 移行対象内のすべての候補サーバーは、このカスタムストアにアクセスする必要があります。

D. デフォルトのファイルストアを使用している JMS サーバーは、移行可能なターゲットに移行する必要があります。

正解: A,C ([コメントを发表する](#))

永続メッセージングの場合、JMSサービスと同じ移行対象をターゲットとするカスタム永続ストアを構成する必要があります。移行前後のスクリプトを使用してストアデータを移行対象サーバー間で移動しない限り、カスタムストアは、移行対象内のすべての候補サーバーがアクセスできるように構成する必要があります。

参考文献：

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、30%**ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 107

ノードマネージャと管理サーバー間の関係を正しく説明しているのは、次のうちどれですか？ 3つの記述を抜粋）

（3つ選択してください。）

A. 管理サーバーはノードマネージャの制御下に置くことができます。ノードマネージャを使用して、管理サーバーを起動、監視、再起動することができます。

B. 管理サーバーはノードマネージャのクライアントになることができます。管理コンソールから管理対象サーバーを起動または停止すると、管理サーバーを使用してノードマネージャにアクセスします。

C. 管理サーバーは、ノードマネージャを使用して管理対象サーバーを起動するプロセスをサポートします。

Node Managerを使用して管理対象サーバーを起動すると、管理対象サーバーは管理サーバーに接続して、未適用の構成更新を取得します。

D. デフォルトでは、管理サーバーはドメインのbinフォルダにあるstartNMスクリプトを使用してノードマネージャを起動します。

E. デフォルトでは、管理サーバーはドメインのconfigフォルダーにあるstartNodeManagerスクリプトを使用してノードマネージャを起動します。

F. ノードマネージャは、管理対象サーバーを起動する前に、管理サーバーが実行されている必要があります。

G. ノードマネージャは管理サーバーのクライアントになることができます - ノードマネージャが管理対象サーバーを監視する必要がある場合、管理サーバーのランタイムMBeansを使用します。

正解: **B,E,F** ([コメントを发表する](#))

説明

B: 管理対象サーバーをホストするマシンでノードマネージャを実行している場合、管理コンソールまたはコマンドラインを使用して、管理対象サーバーをリモートで起動および停止できます。

E: Node Managerをオペレーティングシステムのサービスとして実行することを推奨しますが、コマンドプロンプトまたはスクリプトを使用して手動でNode Managerを起動することもできます。WindowsシステムではstartNodeManager.cmdを、UNIXシステムではstartNodeManager.shを使用してください。

F: 管理コンソール またはweblogic.AdminなどのJMXユーティリティ)から、Node Managerを使用して管理対象サーバーを起動するよう要求されると、その要求は、管理対象サーバーが存在するドメインの管理サーバーに送信されます。管理サーバーは、起動コマンドを対象の管理対象サーバーが稼働しているマシン上のNode Managerプロセスにディスパッチします。Node Managerは起動コマンドを実行し、管理対象サーバープロセスを作成します。

有効的な**1z0-134**問題集はJPNTest.com提供され、**1z0-134**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**1z0-134**試験問題集を提供します。JPNTest.com 1z0-134試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-134**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-134-mondaishu>
127問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」